

令和元年度
高砂市民未来意識調査

令和2年3月
高砂市

I. アンケート調査の概要.....	3
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
(1) 調査対象	3
(2) 実施方法	3
(3) 調査期間	3
3. 回収結果	3
4. 報告書の見方	3
II. アンケート調査集計結果.....	4
1. 回答者のことについて.....	4
問1 回答者の属性.....	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
問2 日頃の行動.....	5
(1) 家庭以外で、もっともよく活動する場所.....	5
(2) もっとも利用時間が長い移動手段.....	5
(3) 最寄りの駅.....	6
(4) よく利用する食料品店がある場所.....	6
(5) よく利用する医療機関がある場所.....	7
(6) 家庭以外で活動する場所がほしいですか.....	7
2. 高砂市の10年について.....	8
問3 10年後になってほしい高砂市の姿	8
2-1 「育み、認め合い、元気に生きるまち」について.....	9
問4 出生数が増えるために、力を入れるべきこと.....	9
問5 義務教育で力を入れるべきこと.....	10
問6 障がいの有無に関わらず、お互いを尊重し、暮らしていくために力を入れるべきこと	11
問7 近所の人困っているとき、週1回、2回程度、有償で支援できること....	12
問8 力を入れるべき高齢者施策.....	13
2-2 「魅力と基盤を共に創る、活力あるまち」について.....	14
問9 住みたいまち.....	14
問10 住みたい住まい（住宅・家）	15
(1) 場所	15
(2) 所有	16
(3) 住宅類型	17
問11 高砂市のにぎわいの中心として、力を入れるべき場所.....	18

問 1 2	最寄り駅に人が集まるために、力を入れるべきこと.....	19
2-3	「楽しく、つながり合い、活躍するまち」について.....	20
問 1 3	誰もが活躍し、参加しやすい社会にするため、力を入れるべきこと.....	20
問 1 4	市民活動に参加することについてのお気持ち.....	21
問 1 5	多くの人が市民活動を始めるために必要なこと.....	22
問 1 6	多くの人が市民活動に参加するために必要なこと.....	23
問 1 7、1 8	ご近所に外国人が住むことについての思い.....	24
2-4	「もっと推進するために」について.....	25
問 1 9	開かれた市役所の仕事の進め方についての思い.....	25
問 2 0	高砂市のことを知るための方法.....	26
問 2 1	地元の良さを伝える方法.....	27
問 2 2	高砂市のまちをアピールするため、活用すればいいと思うこと.....	28
問 2 3	市内・市外の人に伝わる高砂市の良さ.....	29
3	高砂市の施策全般について.....	30
問 2 4	高砂市について感じていること.....	30

I. アンケート調査の概要

1. 調査の目的

本市では、令和 3（2021）年から 10 年間の高砂市のあるべき姿と進むべき方向の基本的指針を示す「第 5 次高砂市総合計画」の策定に取り組んでいます。

本調査は、高砂市の将来像や施策などに関する市民の意向を把握し、総合計画の骨子案に肉付けする際の基礎資料とするために実施します。

2. 調査方法

（1）調査対象

高砂市内に在住する 18 歳以上の市民

（2）実施方法

郵送による調査票の配付・回収（郵送）

各施設（公民館、図書館等）に調査票を設置し回収（回収箱）

市 HP からの回答（ネット）

市公式アプリ「たかさごなび」からの回答（アプリ）

（3）調査期間

令和 2 年 2 月 7 日（金）～令和 2 年 2 月 25 日（火）

3. 回収結果

郵送対象者	有効回答数	有効回答数内訳
1,000 人	585 人	郵送：337 件 回収箱：114 件 ネット：27 件 アプリ：107 件

4. 報告書の見方

- ・回答比率（％）は、その質問の回答者数を基数（N=Number of case）として算出しました。
- ・百分率（％）は小数第 2 位を四捨五入して表示しているため、比率の合計が 100％にならない場合があります。複数回答の構成比率の合計は 100％になりません。
- ・二重回答や判読不能の回答などは、無効回答とし、回答には含めておりません。
- ・各設問において、性別や年齢等の無回答は集計に含んでいないため、集計結果の合計は全体票数にならないことがあります。

Ⅱ. アンケート調査集計結果

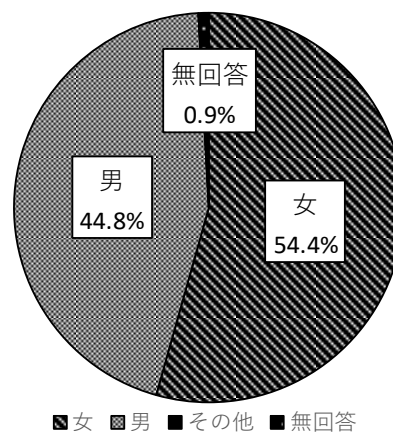
1. 回答者のことについて

問1 回答者の属性

(1) 性別（単一回答）

回答者の中「女性」が 54.4%、「男性」が 44.8%となっています。

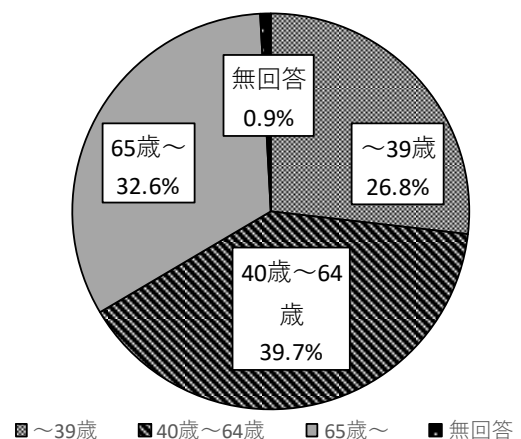
選択肢	回答数	割合
女	318	54.4%
男	262	44.8%
その他	0	0.0%
無回答	5	0.9%
合計	585	100.0%



(2) 年齢（単一回答）

「40 歳から 64 歳まで」が 39.7%と最も高く、「65 歳以上」が 32.6%、「39 歳まで」は 26.8%となっています。

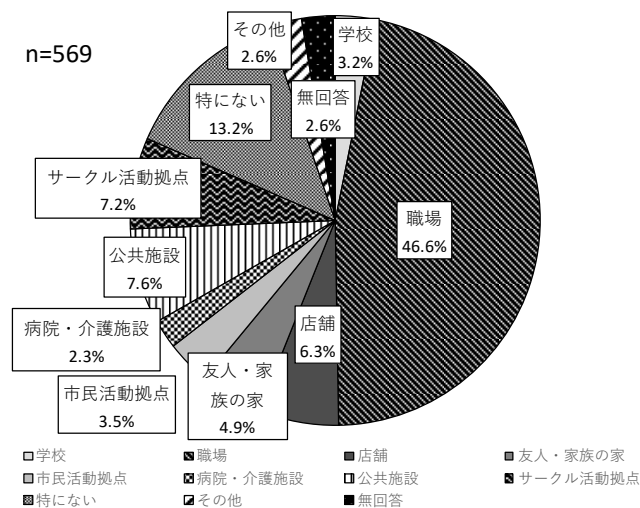
選択肢	回答数	割合
～39歳	157	26.8%
40歳～64歳	232	39.7%
65歳～	191	32.6%
無回答	5	0.9%
合計	585	100.0%



問2 日頃の行動

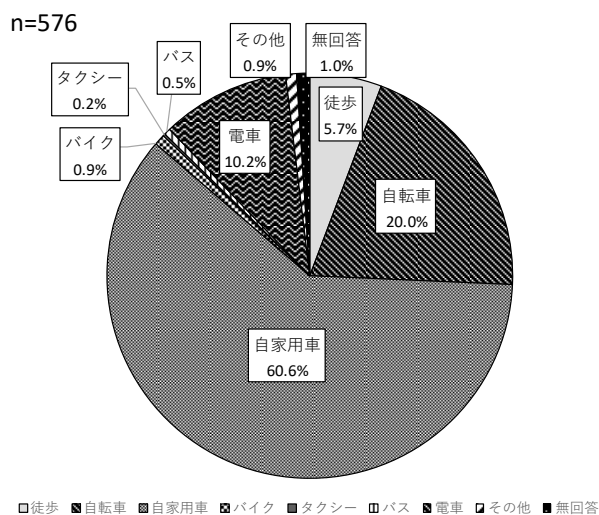
(1) 家庭以外で、もっともよく活動する場所（単一回答）

「職場」が46.6%と最も高く、次いで「特にない」が13.2%となっています。



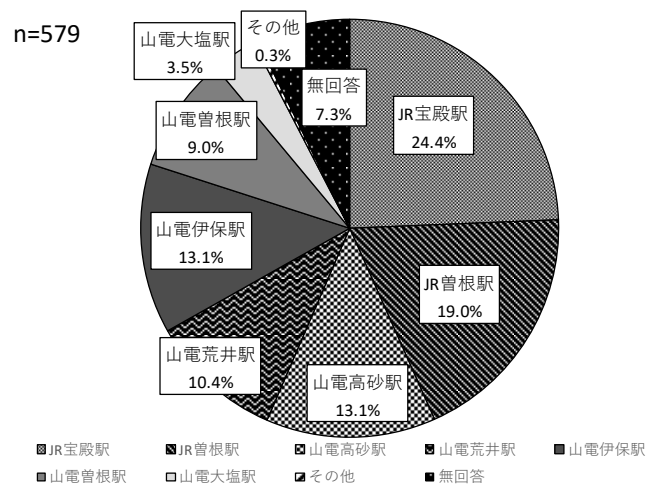
(2) もっとも利用時間が長い移動手段（単一回答）

「自家用車」が60.6%と最も高く、次いで「自転車」が20.0%となっています。



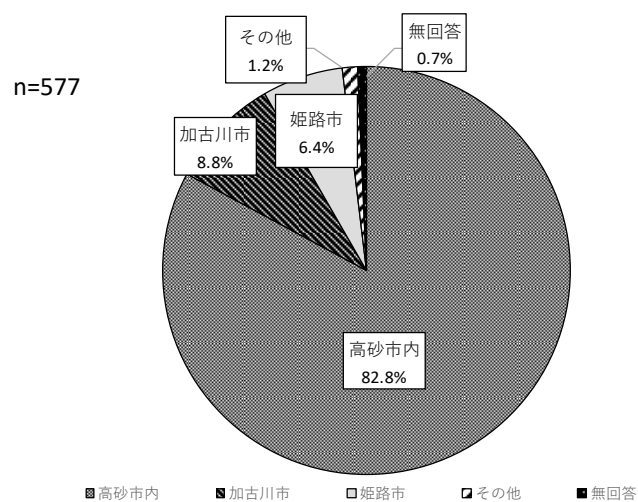
(3) 最寄りの駅（単一回答）

「JR 宝殿駅」が 24.4%と最も高く、次いで「JR 曽根駅」が 19.0%となっています。



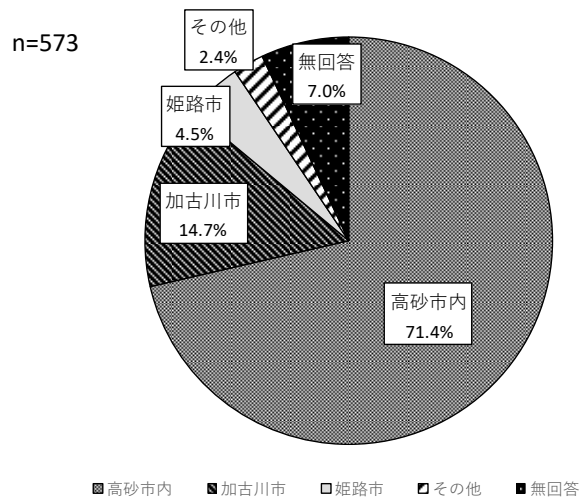
(4) よく利用する食料品店がある場所（単一回答）

「高砂市内」が 82.8%と最も高くなっています。



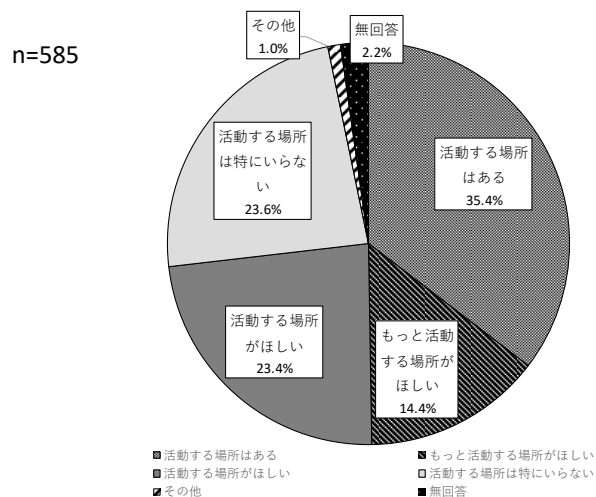
(5) よく利用する医療機関がある場所（単一回答）

「高砂市内」が71.4%と最も高くなっています。



(6) 家庭以外で活動する場所がほしいですか（単一回答）

「活動する場所はある」が35.4%と最も高くなっています。また、家庭以外で「活動する場所がほしい」「もっと活動する場所がほしい」と活動する場所を希望する回答は37.8%であるのに対し、「活動する場所は特にいらない」という回答は23.6%となっています。

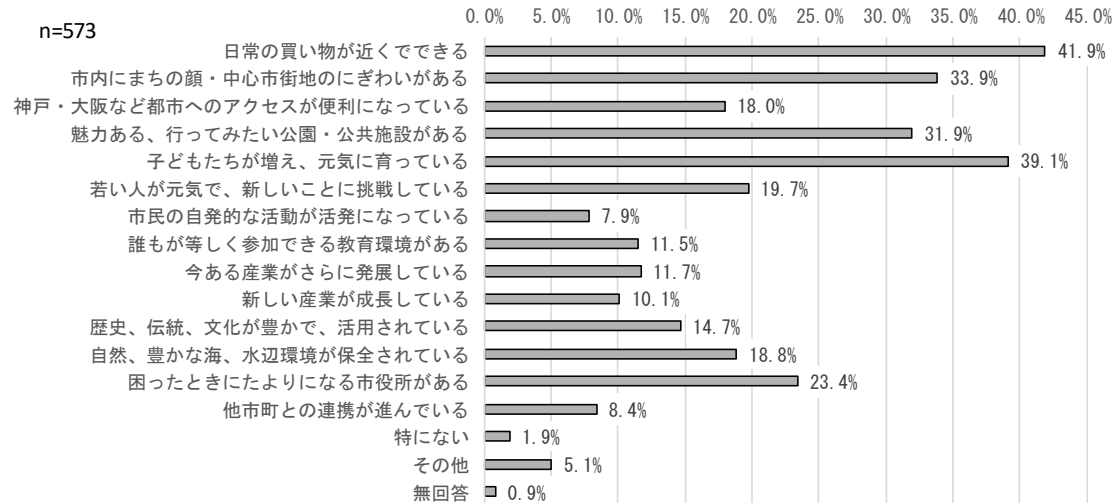


2. 高砂市の10年後について

問3 10年後になってほしい高砂市の姿（複数回答）

「日常の買い物が近くでできる」が41.9%と最も高く、次いで「子どもたちが増え、元気に育っている」が39.1%となっています。

「日常の買い物が近くでできる」は性別・年齢を問わず高くなっています。



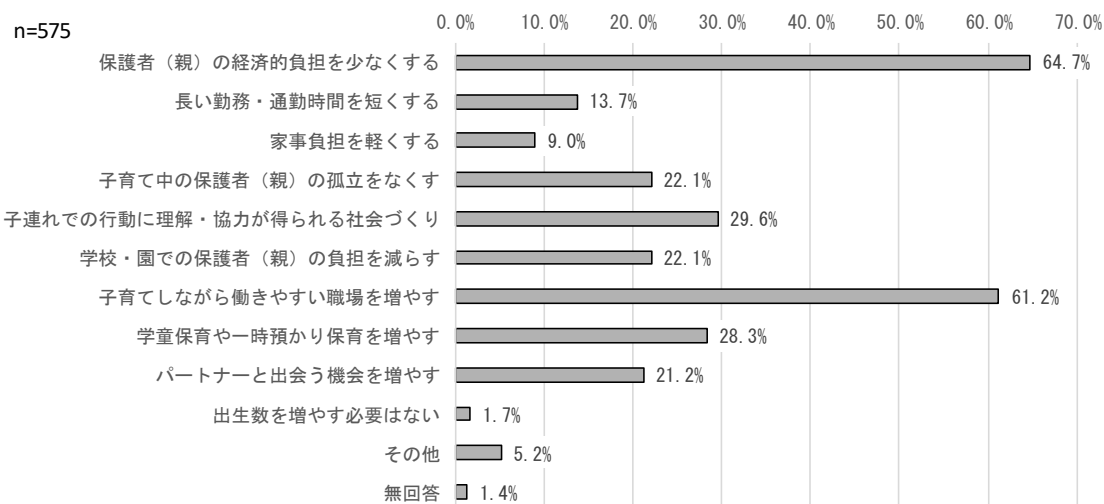
	日常の買い物が近くでできる	市内にまちなみの顔・中心市街地のにぎわいがある	神戸・大阪など都市へのアクセスが便利になっている	魅力ある、行ってみたい公園・公共施設がある	子どもたちが増え、元気に育っている	若い人が元気で、新しいことに挑戦している	市民の自発的な活動が活発になっている	誰もが等しく参加できる教育環境がある	今ある産業がさらに発展している	新しい産業が成長している	歴史、伝統、文化が豊かで、活用されている	自然、豊かな海、水辺環境が保全されている	困ったときにたよりになる市役所がある	他市町との連携が進んでいる	特にない	その他	無回答
女	46.9%	31.4%	16.7%	35.5%	39.0%	18.2%	6.9%	14.5%	11.9%	7.5%	9.7%	17.3%	25.5%	8.8%	2.2%	4.7%	0.0%
男	34.7%	35.1%	18.3%	26.7%	37.8%	21.0%	8.8%	7.6%	10.7%	13.0%	20.2%	19.8%	19.5%	7.6%	1.5%	5.3%	1.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	日常の買い物が近くでできる	市内にまちなみの顔・中心市街地のにぎわいがある	神戸・大阪など都市へのアクセスが便利になっている	魅力ある、行ってみたい公園・公共施設がある	子どもたちが増え、元気に育っている	若い人が元気で、新しいことに挑戦している	市民の自発的な活動が活発になっている	誰もが等しく参加できる教育環境がある	今ある産業がさらに発展している	新しい産業が成長している	歴史、伝統、文化が豊かで、活用されている	自然、豊かな海、水辺環境が保全されている	困ったときにたよりになる市役所がある	他市町との連携が進んでいる	特にない	その他	無回答
39歳まで	40.1%	31.2%	25.5%	40.8%	34.4%	15.9%	2.5%	18.5%	10.8%	7.6%	8.9%	20.4%	17.2%	5.7%	1.3%	5.1%	0.6%
40歳から64歳まで	43.1%	28.4%	16.8%	24.6%	40.1%	23.3%	6.5%	8.2%	12.9%	10.3%	11.6%	16.8%	20.3%	9.1%	0.4%	5.6%	0.9%
65歳以上	39.8%	40.8%	11.0%	32.5%	39.3%	17.8%	13.6%	9.4%	10.5%	11.5%	22.5%	18.8%	30.9%	9.4%	4.2%	4.2%	0.0%

2-1 「育み、認め合い、元気に生きるまち」について

問4 出生数が増えるために、力を入れるべきこと（複数回答）

「保護者（親）の経済的負担を少なくする」が64.7%と最も高くなっています。次いで「子育てしながら働きやすい職場を増やす」が61.2%となっています。

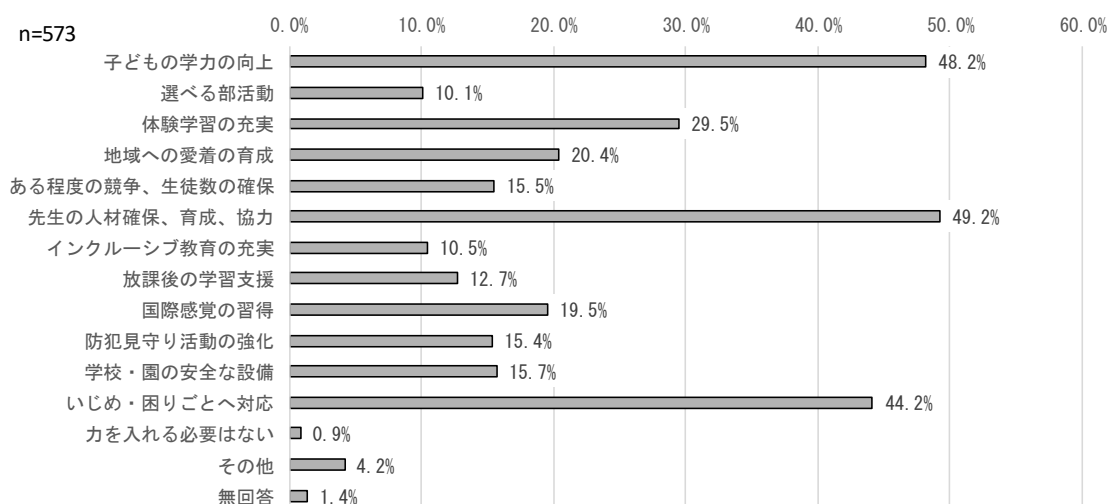


	保護者（親）の経済的負担を少なくする	長い勤務・通勤時間を短くする	家事負担を軽くする	子育て中の保護者（親）の孤立をなくす	子連れでの行動に理解・協力が得られる社会づくり	学校・園での保護者（親）の負担を減らす	子育てしながら働きやすい職場を増やす	学童保育や一時預かり保育を増やす	パートナーと出会う機会を増やす	出生数を増やす必要はない	その他	無回答
女	60.1%	13.2%	11.3%	22.3%	30.5%	22.0%	67.6%	30.2%	17.9%	2.2%	4.7%	0.6%
男	67.6%	14.1%	6.1%	21.0%	27.1%	21.4%	51.1%	25.2%	24.8%	1.1%	5.3%	2.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	保護者（親）の経済的負担を少なくする	長い勤務・通勤時間を短くする	家事負担を軽くする	子育て中の保護者（親）の孤立をなくす	子連れでの行動に理解・協力が得られる社会づくり	学校・園での保護者（親）の負担を減らす	子育てしながら働きやすい職場を増やす	学童保育や一時預かり保育を増やす	パートナーと出会う機会を増やす	出生数を増やす必要はない	その他	無回答
39歳まで	74.5%	18.5%	13.4%	19.1%	29.9%	21.0%	58.0%	21.7%	15.3%	1.9%	4.5%	0.6%
40歳から64歳まで	59.9%	12.9%	7.3%	21.6%	26.7%	25.0%	60.8%	23.7%	24.1%	1.7%	7.3%	1.3%
65歳以上	58.6%	10.5%	7.3%	24.1%	30.9%	18.8%	61.3%	38.2%	21.5%	1.6%	2.6%	2.1%

問5 義務教育で力を入れるべきこと（複数回答）

「先生の人材確保、育成、協力」が49.2%と最も高く、次いで「子どもの学力の向上」が48.2%となっています。

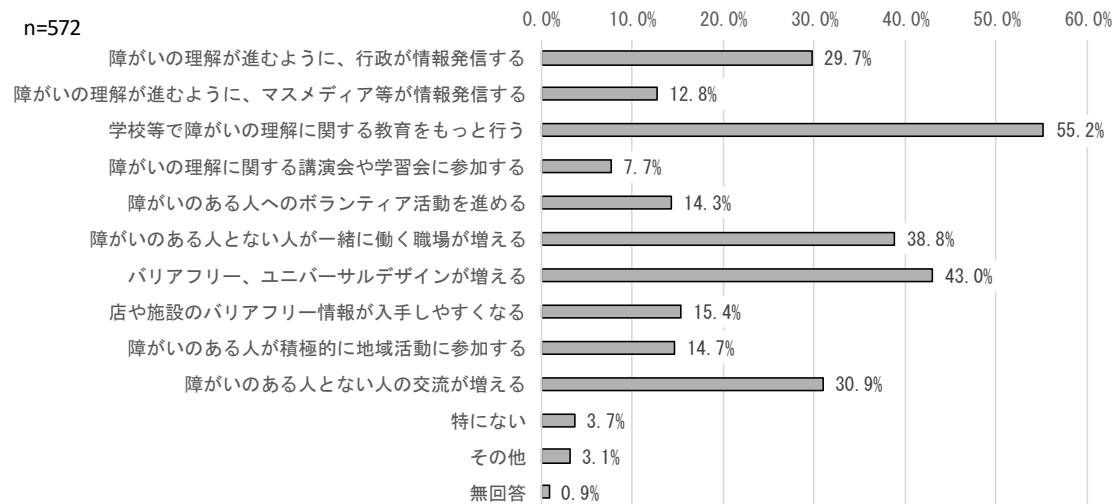


	子どもの学力の向上	選べる部活動	体験学習の充実	地域への愛着の育成	ある程度の競争、生徒数の確保	先生の人材確保、育成、協力	インクルーシブ教育の充実	放課後の学習支援	国際感覚の習得	防犯見守り活動の強化	学校・園の安全な設備	いじめ・困りごとへ対応	力を入れる必要はない	その他	無回答
女	46.9%	7.9%	29.2%	16.4%	16.0%	49.7%	10.7%	12.9%	17.9%	16.0%	18.2%	41.8%	0.9%	2.8%	1.3%
男	47.3%	12.2%	29.0%	24.4%	14.1%	46.2%	9.9%	11.8%	20.6%	13.7%	11.8%	45.0%	0.8%	5.3%	1.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	子どもの学力の向上	選べる部活動	体験学習の充実	地域への愛着の育成	ある程度の競争、生徒数の確保	先生の人材確保、育成、協力	インクルーシブ教育の充実	放課後の学習支援	国際感覚の習得	防犯見守り活動の強化	学校・園の安全な設備	いじめ・困りごとへ対応	力を入れる必要はない	その他	無回答
39歳まで	48.4%	12.1%	35.7%	15.3%	10.2%	49.0%	10.8%	12.1%	17.8%	16.6%	18.5%	42.0%	0.6%	5.7%	0.0%
40歳から64歳まで	48.3%	9.1%	27.2%	18.1%	15.5%	39.7%	12.5%	13.8%	17.2%	14.2%	13.4%	46.1%	0.4%	3.4%	2.6%
65歳以上	44.5%	8.9%	26.2%	26.2%	18.8%	57.6%	7.3%	11.5%	22.0%	15.2%	15.2%	40.3%	1.6%	3.1%	1.0%

問6 障がいの有無に関わらず、お互いを尊重し、暮らしていくために力を入れるべきこと（複数回答）

「学校等で障がいの理解に関する教育をもっと行う」が55.2%と最も高く、次いで、「バリアフリー、ユニバーサルデザインが増える」が43.0%となっています。

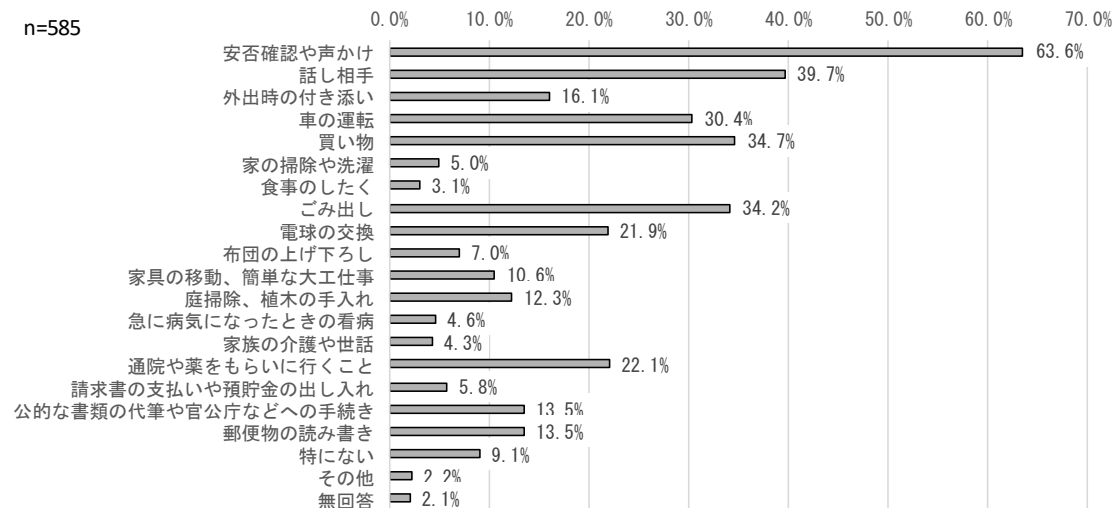


	障がいの理解が進むように、行政が情報発信する	障がいの理解が進むように、マスメディア等が情報発信する	学校等で障がいの理解に関する教育をもっと行う	障がいの理解に関する講演会や学習会に参加する	障がいのある人へのボランティア活動を進める	障がいのある人となない人が一緒に働く職場が増える	障がいのある人が活動しやすいバリアフリー、ユニバーサルデザインが増える	店や施設のバリアフリー情報が入手しやすくなる	障がいのある人が積極的に地域活動に参加する	障がいのある人となない人の交流が増える	特にない	その他	無回答
女	26.1%	8.2%	55.0%	6.0%	11.3%	39.6%	42.8%	15.7%	12.9%	33.3%	4.4%	2.5%	0.3%
男	32.4%	17.6%	52.7%	9.5%	17.2%	35.9%	42.0%	14.1%	16.0%	26.7%	2.7%	3.4%	1.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	障がいの理解が進むように、行政が情報発信する	障がいの理解が進むように、マスメディア等が情報発信する	学校等で障がいの理解に関する教育をもっと行う	障がいの理解に関する講演会や学習会に参加する	障がいのある人へのボランティア活動を進める	障がいのある人となない人が一緒に働く職場が増える	障がいのある人が活動しやすいバリアフリー、ユニバーサルデザインが増える	店や施設のバリアフリー情報が入手しやすくなる	障がいのある人が積極的に地域活動に参加する	障がいのある人となない人の交流が増える	特にない	その他	無回答
39歳まで	22.3%	14.0%	59.9%	8.3%	10.8%	38.9%	50.3%	18.5%	8.9%	26.8%	1.9%	2.5%	0.0%
40歳から64歳まで	29.7%	10.8%	51.7%	7.3%	14.7%	39.7%	38.8%	15.9%	14.2%	31.9%	3.9%	3.0%	0.9%
65歳以上	33.5%	12.6%	51.3%	7.3%	16.2%	35.6%	40.3%	11.0%	18.8%	31.4%	4.7%	3.1%	1.6%

問7 近所の人が困っているとき、週1回、2回程度、有償で支援できること (複数回答)

「安否確認や声かけ」が63.6%と最も高くなっており、次いで「話し相手」が39.7%となっています。

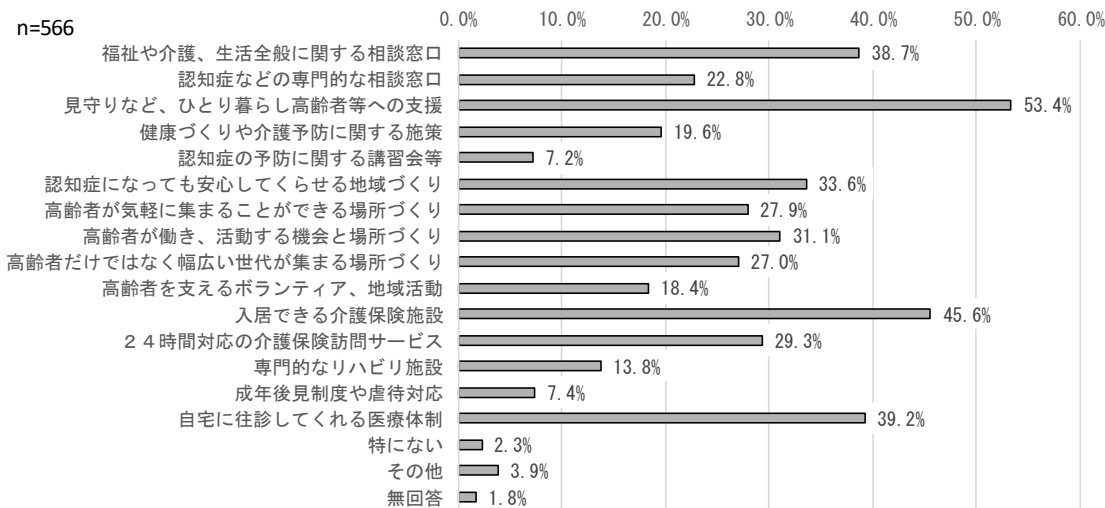


	安否確認や声かけ	話し相手	外出時の付き添い	車の運転	買い物	家の掃除や洗濯	食事のしたく	ごみ出し	電球の交換	布団の上げ下ろし	家具の移動、簡単な大工仕事	庭掃除、植木の手入れ	急に病気になったときの看病	家族の介護や世話	通院や薬をもらいに行くこと	請求書の支払いや預貯金の出し入れ	公的な書類の代筆や官公庁などへの手続き	郵便物の読み書き	特になし	その他	無回答
女	69.5%	47.2%	17.0%	22.2%	40.6%	6.0%	4.7%	33.6%	9.4%	8.2%	4.4%	6.0%	4.1%	4.4%	23.0%	5.7%	10.7%	16.0%	7.5%	3.1%	2.2%
男	56.9%	30.2%	15.3%	40.1%	28.2%	3.8%	1.1%	35.1%	37.0%	5.7%	18.3%	20.2%	5.3%	3.8%	20.6%	5.7%	16.8%	10.7%	10.7%	1.1%	1.9%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	安否確認や声かけ	話し相手	外出時の付き添い	車の運転	買い物	家の掃除や洗濯	食事のしたく	ごみ出し	電球の交換	布団の上げ下ろし	家具の移動、簡単な大工仕事	庭掃除、植木の手入れ	急に病気になったときの看病	家族の介護や世話	通院や薬をもらいに行くこと	請求書の支払いや預貯金の出し入れ	公的な書類の代筆や官公庁などへの手続き	郵便物の読み書き	特になし	その他	無回答
39歳まで	59.2%	40.1%	11.5%	24.8%	27.4%	3.2%	2.5%	24.2%	16.6%	6.4%	9.6%	5.7%	4.9%	2.5%	15.3%	4.9%	10.2%	14.0%	9.6%	1.9%	0.6%
40歳から64歳まで	66.8%	40.1%	21.6%	40.1%	42.2%	6.5%	4.3%	39.7%	27.6%	10.3%	11.2%	15.1%	6.9%	6.5%	24.6%	6.5%	17.2%	16.8%	4.7%	1.7%	1.7%
65歳以上	63.4%	37.7%	13.1%	23.0%	31.9%	4.7%	2.1%	36.6%	18.8%	3.1%	10.5%	14.7%	2.1%	2.1%	24.1%	5.8%	11.5%	8.9%	13.6%	3.1%	3.7%

問8 力を入れるべき高齢者施策（複数回答）

力を入れるべき高齢者施策として、「見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援」が 53.4%と最も高くなっており、次いで「入居できる介護保険施設」が 45.6%となっています。



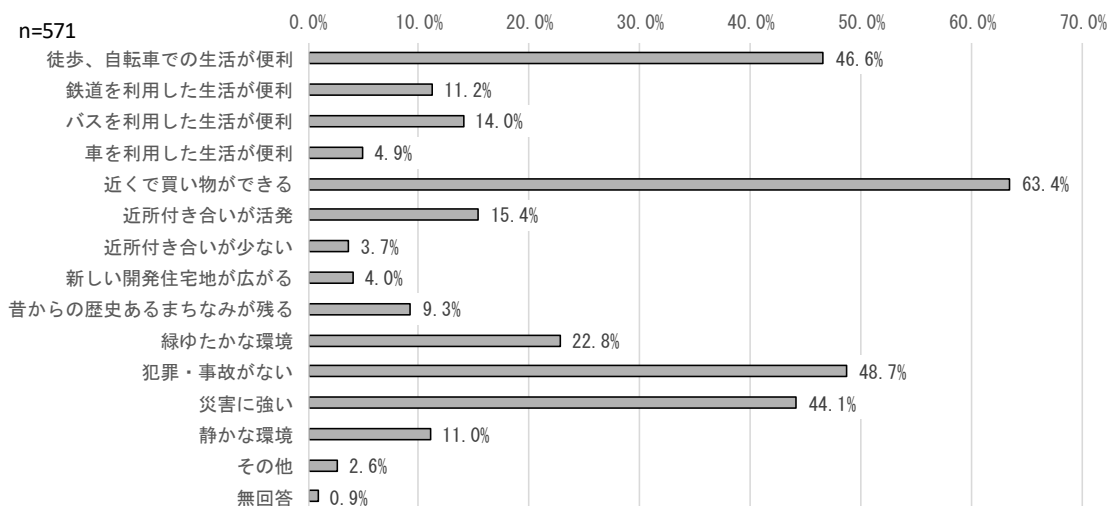
	福祉や介護、生活全般に関する相談窓口	認知症などの専門的な相談窓口	見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援	健康づくりや介護予防に関する施策	認知症の予防に関する講習会等	認知症になっても安心してくらせる地域づくり	高齢者が気軽に集まることができる場所づくり	高齢者が働き、活動する機会と場所づくり	高齢者だけではなく幅広い世代が集まる場所づくり	高齢者を支えるボランティア、地域活動	入居できる介護保険施設	24時間対応の介護保険訪問サービス	専門的なリハビリ施設	成年後見制度や虐待対応	自宅に往診してくれる医療体制	特にない	その他	無回答
女	34.3%	24.8%	53.8%	15.4%	6.3%	33.3%	28.6%	30.5%	24.2%	16.4%	47.5%	28.9%	12.3%	7.2%	37.1%	2.2%	3.8%	0.9%
男	40.8%	17.9%	49.2%	23.3%	7.6%	31.3%	24.4%	29.4%	28.6%	19.1%	40.1%	27.9%	14.5%	6.9%	38.2%	1.9%	3.4%	2.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	福祉や介護、生活全般に関する相談窓口	認知症などの専門的な相談窓口	見守りなど、ひとり暮らし高齢者等への支援	健康づくりや介護予防に関する施策	認知症の予防に関する講習会等	認知症になっても安心してくらせる地域づくり	高齢者が気軽に集まることができる場所づくり	高齢者が働き、活動する機会と場所づくり	高齢者だけではなく幅広い世代が集まる場所づくり	高齢者を支えるボランティア、地域活動	入居できる介護保険施設	24時間対応の介護保険訪問サービス	専門的なリハビリ施設	成年後見制度や虐待対応	自宅に往診してくれる医療体制	特にない	その他	無回答
39歳まで	29.3%	22.3%	47.8%	17.8%	10.2%	25.5%	30.6%	38.2%	26.1%	14.0%	39.5%	23.6%	14.0%	7.0%	31.2%	3.8%	5.1%	0.6%
40歳から64歳まで	38.4%	27.6%	53.0%	19.0%	5.2%	31.5%	23.3%	28.9%	27.2%	17.7%	46.6%	31.9%	12.5%	9.1%	34.5%	0.9%	3.9%	2.2%
65歳以上	42.9%	14.7%	53.9%	20.4%	6.8%	39.8%	28.3%	25.1%	25.1%	20.9%	45.5%	28.3%	13.6%	5.2%	47.1%	2.6%	2.6%	1.6%

2-2 「魅力と基盤を共に創る、活力あるまち」について

問9 住みたいまち（複数回答）

「近くで買い物ができる」が63.4%と最も高くなっており、次いで「犯罪・事故がない」が48.7%となっています。



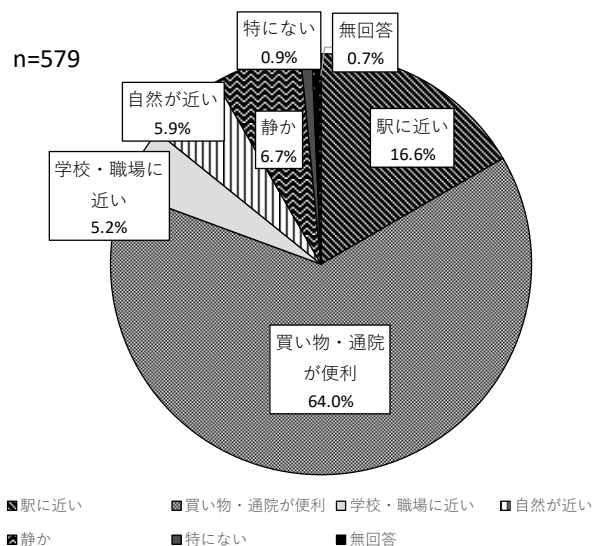
	徒歩、自転車での生活が便利	鉄道を利用した生活が便利	バスを利用した生活が便利	車を利用した生活が便利	近くで買い物ができる	近所付き合いが活発	近所付き合いが少ない	新しい開発住宅地が広がる	昔からの歴史あるまちなみが残る	緑豊かな環境	犯罪・事故がない	災害に強い	静かな環境	その他	無回答
女	47.8%	7.2%	11.6%	3.5%	64.5%	16.7%	3.8%	3.1%	6.6%	23.0%	50.3%	44.7%	8.5%	1.9%	0.3%
男	42.4%	15.6%	16.0%	6.5%	58.8%	12.6%	3.4%	5.0%	12.2%	21.8%	44.7%	41.2%	13.7%	3.4%	1.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	徒歩、自転車での生活が便利	鉄道を利用した生活が便利	バスを利用した生活が便利	車を利用した生活が便利	近くで買い物ができる	近所付き合いが活発	近所付き合いが少ない	新しい開発住宅地が広がる	昔からの歴史あるまちなみが残る	緑豊かな環境	犯罪・事故がない	災害に強い	静かな環境	その他	無回答
39歳まで	36.9%	15.3%	9.6%	7.6%	59.2%	8.9%	4.5%	7.0%	9.6%	20.4%	60.5%	45.2%	9.6%	3.8%	0.6%
40歳から64歳まで	44.0%	12.1%	15.1%	3.4%	59.5%	16.4%	4.3%	3.4%	9.5%	24.1%	51.3%	44.8%	12.1%	2.6%	0.4%
65歳以上	53.9%	6.3%	15.2%	3.7%	67.0%	18.3%	2.1%	2.1%	8.4%	22.0%	33.0%	39.3%	10.5%	1.6%	1.0%

問 10 住みたい住まい（住宅・家）

（１）場所（単一回答）

「買い物・通院が便利」が 64.0%と最も高くなっています。特に「65 歳以上」の回答者の 79.1%が「買い物・通院が便利」を最も重視しています。

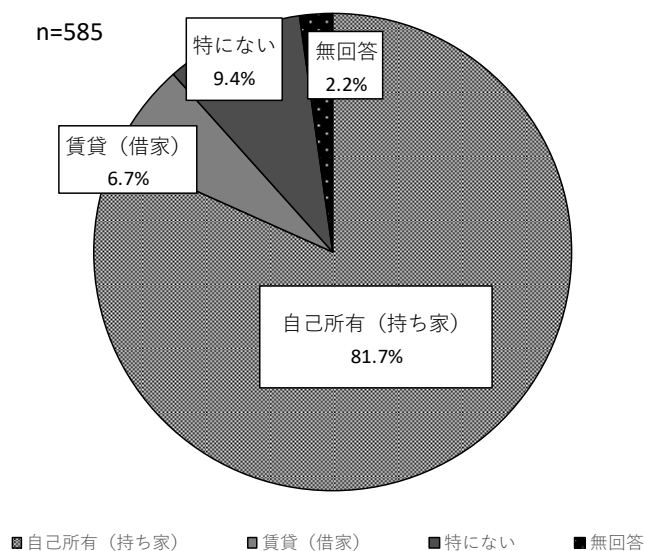


	駅に近い	買い物・通院が便利	学校・職場に近い	自然に近い	静か	特にない	無回答
女	15.4%	67.9%	4.4%	5.0%	4.7%	0.6%	0.9%
男	17.6%	57.6%	6.1%	6.9%	9.2%	1.1%	0.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	駅に近い	買い物・通院が便利	学校・職場に近い	自然に近い	静か	特にない	無回答
39歳まで	25.5%	51.0%	10.8%	6.4%	3.8%	1.3%	0.0%
40歳から64歳まで	16.4%	59.1%	4.3%	6.5%	11.2%	0.9%	0.9%
65歳以上	8.9%	79.1%	1.0%	4.7%	3.7%	0.5%	1.0%

(2) 所有（単一回答）

「自己所有（持ち家）」が 81.7%と最も高くなっています。年齢別でみると、年齢の上昇につれ、「自己所有（持ち家）」の割合が高くなっています。

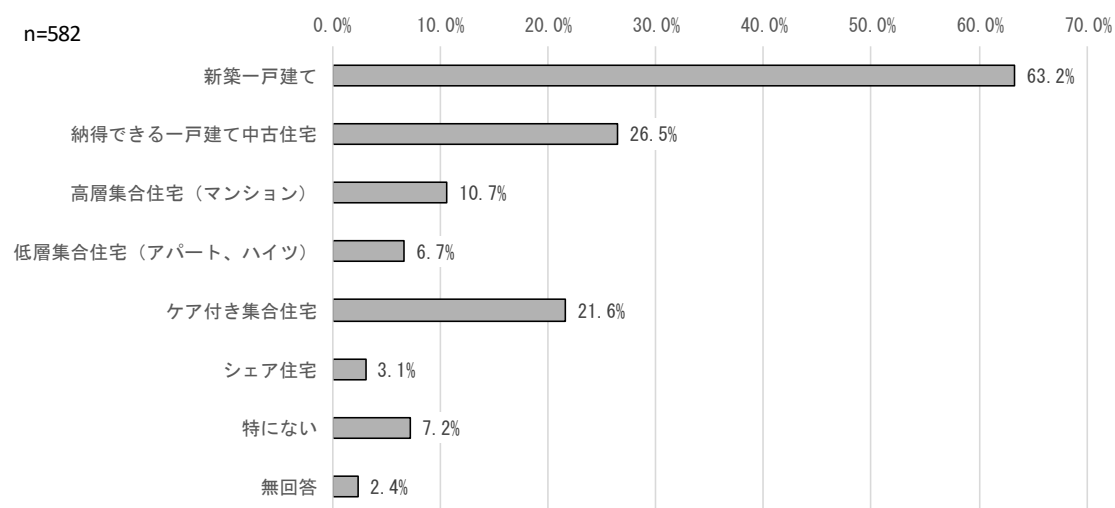


	自己所有 （持ち家）	賃貸（借 家）	特にない	無回答
女	80.2%	6.9%	9.7%	3.1%
男	83.6%	6.5%	9.2%	0.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	自己所有 （持ち家）	賃貸（借 家）	特にない	無回答
39歳まで	74.5%	12.1%	12.1%	1.3%
40歳から 64歳まで	83.2%	4.7%	9.9%	2.2%
65歳以上	85.9%	4.7%	6.8%	2.6%

(3) 住宅類型（複数回答）

「新築一戸建て」が63.2%と最も高くなっています。年齢別でみると、「65歳以上」の32.5%が「ケア付き集合住宅」と回答しています。

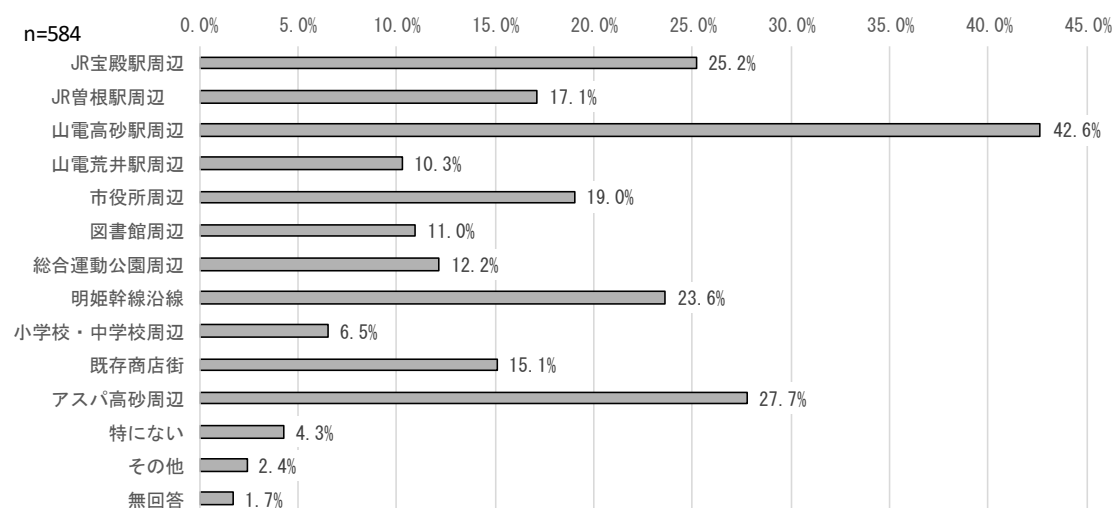


	新築一戸建て	納得できる一戸建て中古住宅	高層集合住宅（マンション）	低層集合住宅（アパート、ハイツ）	ケア付き集合住宅	シェア住宅	特にない	無回答
女	58.2%	27.0%	10.1%	5.7%	24.8%	4.1%	7.5%	2.8%
男	69.1%	25.2%	11.5%	7.6%	17.6%	1.9%	6.9%	1.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	新築一戸建て	納得できる一戸建て中古住宅	高層集合住宅（マンション）	低層集合住宅（アパート、ハイツ）	ケア付き集合住宅	シェア住宅	特にない	無回答
39歳まで	71.3%	33.8%	10.8%	7.6%	7.0%	3.8%	8.3%	1.3%
40歳から64歳まで	62.1%	23.3%	13.8%	5.6%	22.4%	2.6%	7.8%	1.3%
65歳以上	57.6%	23.6%	6.8%	6.8%	32.5%	3.1%	5.8%	4.2%

問 1 1 高砂市のにぎわいの中心として、力を入れるべき場所（複数回答）

「山電高砂駅周辺」が 42.6%と最も高くなっており、次いで「アスパ高砂周辺」が 27.7%となっています。

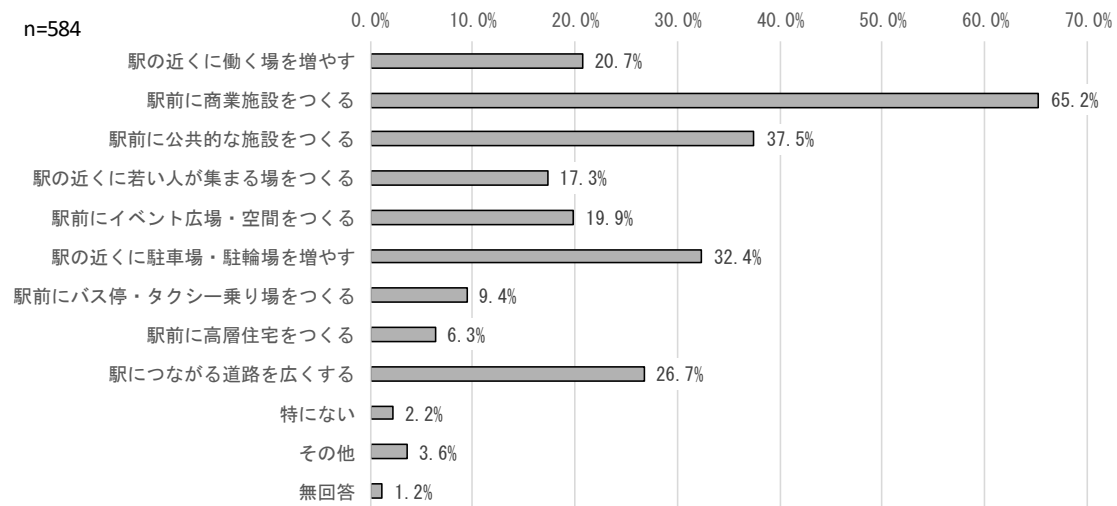


	JR宝殿駅周辺	JR曾根駅周辺	山電高砂駅周辺	山電荒井駅周辺	市役所周辺	図書館周辺	総合運動公園周辺	明姫幹線沿線	小学校・中学校周辺	既存商店街	アスパ高砂周辺	特にない	その他	無回答
女	22.3%	16.0%	40.3%	11.3%	19.8%	11.6%	11.0%	22.0%	7.9%	13.8%	27.4%	6.0%	3.1%	0.9%
男	28.6%	18.3%	46.2%	8.8%	17.9%	9.9%	13.4%	25.2%	5.0%	16.4%	28.6%	1.9%	1.5%	2.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	JR宝殿駅周辺	JR曾根駅周辺	山電高砂駅周辺	山電荒井駅周辺	市役所周辺	図書館周辺	総合運動公園周辺	明姫幹線沿線	小学校・中学校周辺	既存商店街	アスパ高砂周辺	特にない	その他	無回答
39歳まで	29.3%	17.2%	38.2%	10.8%	14.6%	14.0%	10.8%	24.2%	8.3%	14.0%	34.4%	5.7%	1.3%	1.3%
40歳から64歳まで	29.7%	15.1%	41.4%	9.9%	19.0%	8.6%	14.2%	26.3%	5.6%	11.2%	28.0%	3.0%	2.6%	1.7%
65歳以上	16.2%	19.4%	48.7%	9.9%	22.5%	11.5%	10.5%	19.9%	6.3%	20.4%	22.5%	4.2%	3.1%	1.6%

問 1 2 最寄り駅に人が集まるために、力を入れるべきこと（複数回答）

「駅前に商業施設をつくる」が 65.2%と最も高くなっており、次いで「駅前に公共的な施設をつくる」が 37.5%となっています。



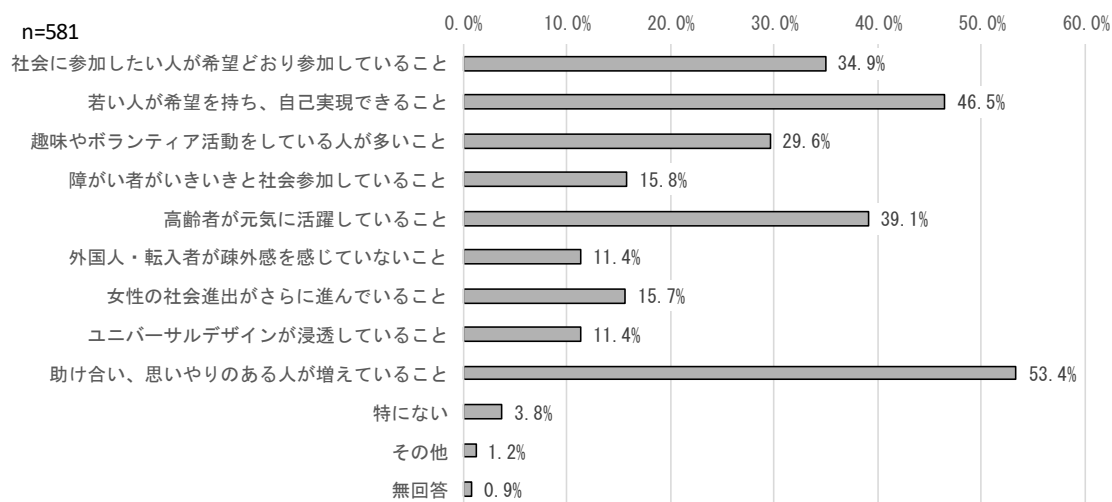
	駅の前近くに働く場を増やす	駅前に商業施設をつくる	駅前に公共的な施設をつくる	駅の前近くに若い人が集まる場をつくる	駅前にイベント広場・空間をつくる	駅の前近くに駐車場・駐輪場を増やす	駅前にバス停・タクシー乗り場をつくる	駅前に高層住宅をつくる	駅につながる道路を広くする	特にない	その他	無回答
女	23.6%	61.0%	39.6%	17.6%	15.1%	32.4%	9.7%	3.8%	24.2%	2.2%	3.5%	0.9%
男	17.6%	71.4%	35.1%	16.8%	25.2%	32.4%	8.0%	9.2%	29.8%	2.3%	3.8%	1.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	駅の前近くに働く場を増やす	駅前に商業施設をつくる	駅前に公共的な施設をつくる	駅の前近くに若い人が集まる場をつくる	駅前にイベント広場・空間をつくる	駅の前近くに駐車場・駐輪場を増やす	駅前にバス停・タクシー乗り場をつくる	駅前に高層住宅をつくる	駅につながる道路を広くする	特にない	その他	無回答
39歳まで	26.1%	65.0%	36.3%	21.0%	18.5%	22.9%	7.0%	6.4%	26.8%	2.5%	5.7%	1.3%
40歳から64歳まで	21.6%	67.2%	38.4%	18.1%	19.4%	33.2%	8.2%	7.3%	26.3%	1.7%	3.4%	1.7%
65歳以上	15.7%	63.9%	37.2%	13.1%	20.9%	39.8%	12.0%	4.7%	27.2%	2.6%	2.1%	0.5%

2-3 「楽しく、つながり合い、活躍するまち」について

問13 誰もが活躍し、参加しやすい社会にするため、力を入れるべきこと (複数回答)

「助け合い、思いやりのある人が増えていること」が53.4%と最も高く、次いで「若い人が希望を持ち、自己実現できること」が46.5%となっています。

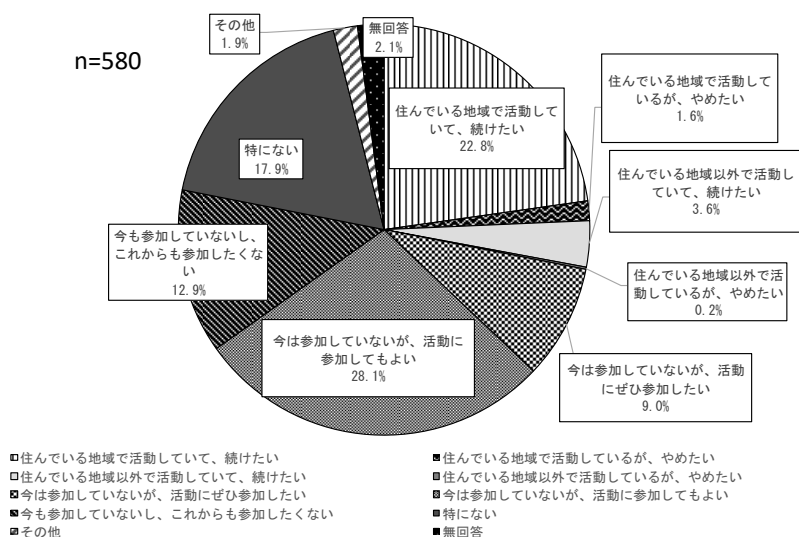


	社会に参加したい人が希望どおり参加していること	若い人が希望を持ち、自己実現できること	趣味やボランティア活動をしている人が多いこと	障がい者がいきいきと社会参加していること	高齢者が元気に活躍していること	外国人・転入者が疎外感を感じていないこと	女性の社会進出がさらに進んでいること	ユニバーサルデザインが浸透していること	助け合い、思いやりのある人が増えていること	特にない	その他	無回答
女	33.6%	45.3%	25.8%	17.0%	38.7%	11.0%	17.9%	10.4%	54.1%	3.8%	1.3%	0.6%
男	35.9%	47.7%	33.6%	13.7%	38.9%	11.8%	13.0%	12.6%	51.5%	3.4%	1.1%	1.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	社会に参加したい人が希望どおり参加していること	若い人が希望を持ち、自己実現できること	趣味やボランティア活動をしている人が多いこと	障がい者がいきいきと社会参加していること	高齢者が元気に活躍していること	外国人・転入者が疎外感を感じていないこと	女性の社会進出がさらに進んでいること	ユニバーサルデザインが浸透していること	助け合い、思いやりのある人が増えていること	特にない	その他	無回答
39歳まで	36.3%	53.5%	30.6%	11.5%	15.9%	13.4%	21.7%	18.5%	48.4%	5.7%	1.3%	0.0%
40歳から64歳まで	35.8%	45.7%	26.3%	17.7%	41.8%	9.9%	15.1%	9.5%	53.9%	3.9%	1.3%	1.7%
65歳以上	31.9%	41.4%	32.5%	16.2%	54.5%	11.0%	11.5%	7.3%	55.5%	1.6%	1.0%	0.5%

問 1 4 市民活動に参加することについてのお気持ち（単一回答）

市民活動について、「住んでいる地域で活動していて、続けたい」「住んでいる地域以外で活動していて、続けたい」「今は参加していないが、活動にぜひ参加したい」「今は参加していないが、活動に参加してもよい」と参加に前向きな回答は 63.5% を占めています。

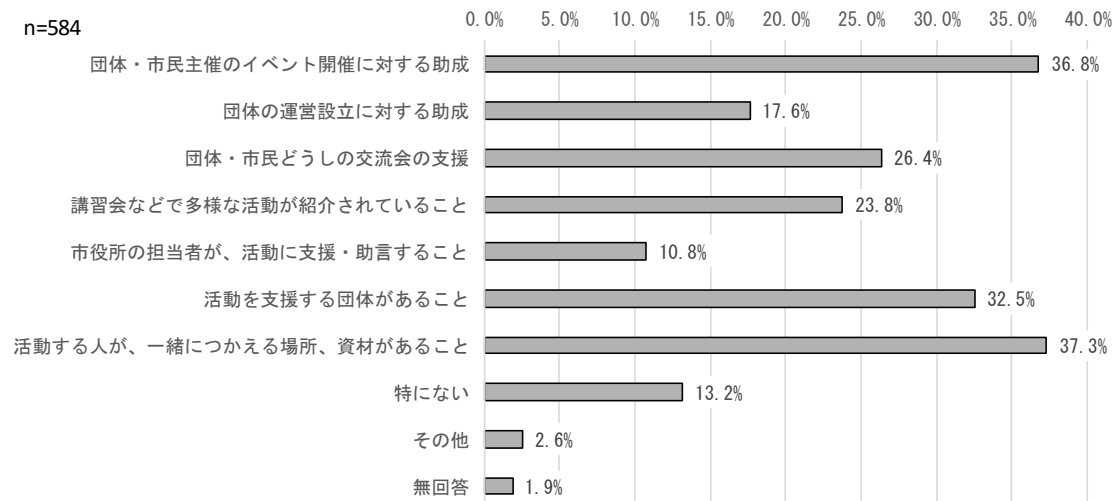


	住んでいる地域で活動していて、続けたい	住んでいる地域で活動しているが、やめたい	住んでいる地域以外で活動していて、続けたい	住んでいる地域以外で活動しているが、やめたい	今は参加していないが、活動にぜひ参加したい	今は参加していないが、活動に参加してもよい	今も参加していないし、これからも参加したくない	特にない	その他	無回答
女	19.5%	0.9%	3.8%	0.0%	8.5%	31.1%	11.6%	19.2%	2.2%	1.9%
男	26.3%	2.3%	3.4%	0.4%	9.2%	24.0%	14.5%	15.6%	1.5%	2.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	住んでいる地域で活動していて、続けたい	住んでいる地域で活動しているが、やめたい	住んでいる地域以外で活動していて、続けたい	住んでいる地域以外で活動しているが、やめたい	今は参加していないが、活動にぜひ参加したい	今は参加していないが、活動に参加してもよい	今も参加していないし、これからも参加したくない	特にない	その他	無回答
39歳まで	10.2%	0.6%	2.5%	0.6%	11.5%	28.0%	19.7%	22.9%	0.6%	1.3%
40歳から64歳まで	21.6%	1.7%	2.2%	0.0%	8.2%	31.0%	9.9%	18.1%	3.9%	3.0%
65歳以上	34.0%	2.1%	6.3%	0.0%	7.3%	24.6%	11.0%	12.0%	0.5%	1.6%

問 15 多くの人が市民活動を始めするために必要なこと（複数回答）

「活動する人が、一緒につかえる場所、資材があること」が 37.3%と最も高くなっており、次いで「団体・市民主催のイベント開催に対する助成」が 36.8%、「活動を支援する団体があること」が 32.5%となっています。

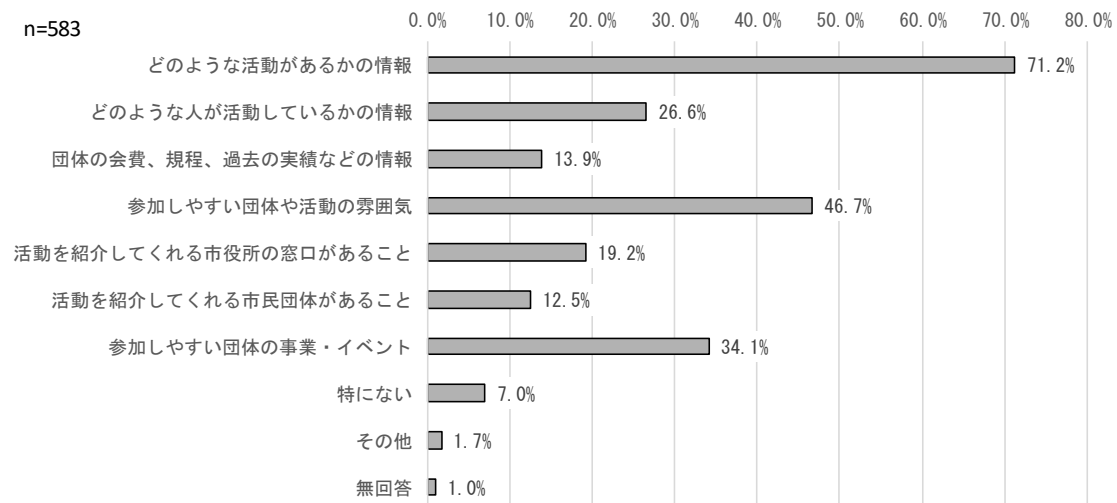


	団体・市民主催のイベント開催に対する助成	団体の運営設立に対する助成	団体・市民どうしの交流会の支援	講習会などで多様な活動が紹介されていること	市役所の担当者が、活動に支援・助言すること	活動を支援する団体があること	活動する人が、一緒につかえる場所、資材があること	特にな	その他	無回答
女	37.1%	15.1%	24.5%	24.2%	9.1%	30.5%	35.5%	14.2%	1.6%	1.6%
男	36.6%	21.0%	29.0%	22.5%	13.0%	34.7%	38.9%	11.8%	3.8%	2.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	団体・市民主催のイベント開催に対する助成	団体の運営設立に対する助成	団体・市民どうしの交流会の支援	講習会などで多様な活動が紹介されていること	市役所の担当者が、活動に支援・助言すること	活動を支援する団体があること	活動する人が、一緒につかえる場所、資材があること	特にな	その他	無回答
39歳まで	35.0%	16.6%	19.7%	21.7%	9.6%	29.3%	41.4%	15.9%	2.5%	0.0%
40歳から64歳まで	37.5%	17.7%	29.3%	21.1%	11.6%	32.8%	35.3%	12.9%	4.3%	3.0%
65歳以上	37.7%	18.8%	28.3%	27.7%	10.5%	35.1%	36.1%	11.0%	0.5%	2.1%

問 16 多くの人が市民活動に参加するために必要なこと（複数回答）

「どのような活動があるかの情報」が71.2%と最も高くなっており、次いで「参加しやすい団体や活動の雰囲気」が46.7%となっています。

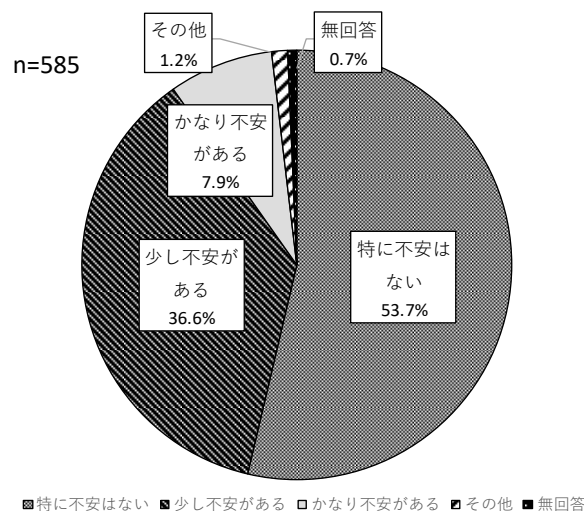


	どのような活動があるかの情報	どのような人が活動しているかの情報	団体の会費、規程、過去の実績などの情報	参加しやすい団体や活動の雰囲気	活動を紹介してくれる市役所の窓口があること	活動を紹介してくれる市民団体があること	参加しやすい団体の事業・イベント	特にない	その他	無回答
女	74.5%	27.0%	12.9%	47.2%	16.4%	9.7%	33.0%	6.9%	1.3%	0.6%
男	67.2%	25.2%	15.3%	46.2%	22.1%	16.0%	35.1%	6.9%	2.3%	1.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	どのような活動があるかの情報	どのような人が活動しているかの情報	団体の会費、規程、過去の実績などの情報	参加しやすい団体や活動の雰囲気	活動を紹介してくれる市役所の窓口があること	活動を紹介してくれる市民団体があること	参加しやすい団体の事業・イベント	特にない	その他	無回答
39歳まで	77.1%	28.0%	14.0%	46.5%	14.6%	4.5%	36.9%	7.6%	1.3%	0.6%
40歳から64歳まで	72.4%	25.4%	13.4%	46.1%	16.4%	14.2%	34.5%	6.0%	2.2%	2.2%
65歳以上	64.4%	26.2%	14.7%	47.1%	26.2%	17.3%	30.9%	7.3%	1.6%	0.0%

問 17、18 ご近所に外国人が住むことについての思い（単一回答・自由記述）

「特に不安はない」が 53.7%と最も高くなっていますが、「少し不安がある」「かなり不安がある」と不安に感じている方が 44.5%となっています。



	特に不安はない	少し不安がある	かなり不安がある	その他	無回答
女	49.7%	39.6%	8.5%	1.6%	0.6%
男	59.5%	32.4%	6.9%	0.8%	0.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	特に不安はない	少し不安がある	かなり不安がある	その他	無回答
39歳まで	58.6%	35.0%	5.7%	0.6%	0.0%
40歳から64歳まで	46.6%	44.0%	7.8%	1.3%	0.4%
65歳以上	59.2%	28.8%	9.4%	1.6%	1.0%

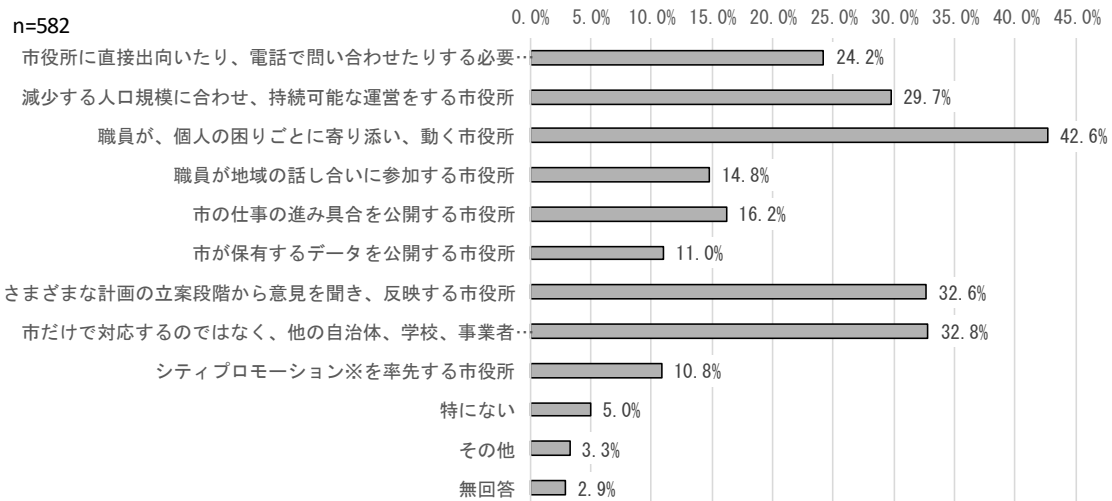
問 17 で、「すこし不安がある」または「かなり不安がある」と回答された方が不安に感じることは主に以下のようなことが挙げられます。

不安を感じること	回答者数
治安の悪化	6 6
言語の違いによるコミュニケーション問題	6 5
文化、思考、習慣の違い	5 3
ルール・マナーのトラブル	2 1

2-4 「もっと推進するために」について

問19 開かれた市役所の仕事の進め方についての思い（複数回答）

「職員が、個人の困りごとに寄り添い、動く市役所」が42.6%と最も高くなっており、次いで「市だけで対応するのではなく、他の自治体、学校、事業者と協力する市役所」が32.8%、「さまざまな計画の立案段階から意見を聞き、反映する市役所」が32.6%となっています。

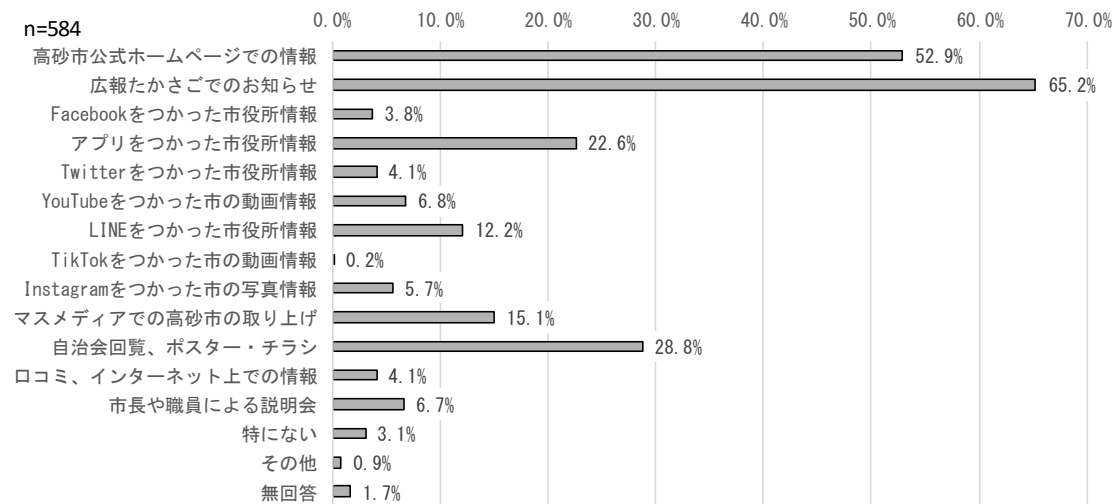


	市役所に直接出向いたり、電話で問い合わせたりする必要がない市役所	減少する人口規模に合わせ、持続可能な運営をする市役所	職員が、個人の困りごとに寄り添い、動く市役所	職員が地域の話し合いに参加する市役所	市の仕事の進み具合を公開する市役所	市が保有するデータを公開する市役所	さまざまな計画の立案段階から意見を聞き、反映する市役所	市だけで対応するのではなく、他の自治体、学校、事業者と協力する市役所	シティプロモーション※を率先する市役所	特にない	その他	無回答
女	23.9%	28.0%	45.6%	11.3%	13.2%	9.4%	28.9%	35.2%	10.1%	5.3%	1.9%	2.8%
男	24.8%	31.7%	38.5%	18.7%	19.1%	12.2%	36.6%	30.2%	11.8%	4.2%	4.6%	3.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	市役所に直接出向いたり、電話で問い合わせたりする必要がない市役所	減少する人口規模に合わせ、持続可能な運営をする市役所	職員が、個人の困りごとに寄り添い、動く市役所	職員が地域の話し合いに参加する市役所	市の仕事の進み具合を公開する市役所	市が保有するデータを公開する市役所	さまざまな計画の立案段階から意見を聞き、反映する市役所	市だけで対応するのではなく、他の自治体、学校、事業者と協力する市役所	シティプロモーション※を率先する市役所	特にない	その他	無回答
39歳まで	36.3%	24.2%	41.4%	8.3%	16.6%	12.1%	25.5%	38.2%	12.7%	5.7%	3.8%	1.3%
40歳から64歳まで	20.7%	30.6%	39.7%	15.1%	17.2%	8.6%	32.3%	34.1%	9.1%	6.0%	3.9%	1.7%
65歳以上	18.8%	33.0%	47.1%	19.4%	13.1%	12.6%	38.7%	26.7%	11.5%	2.6%	1.6%	5.8%

問20 高砂市のことを知るための方法（複数回答）

「広報たかさごでのお知らせ」が65.2%と最も高くなっており、次いで「高砂市公式ホームページでの情報」が52.9%となっています。

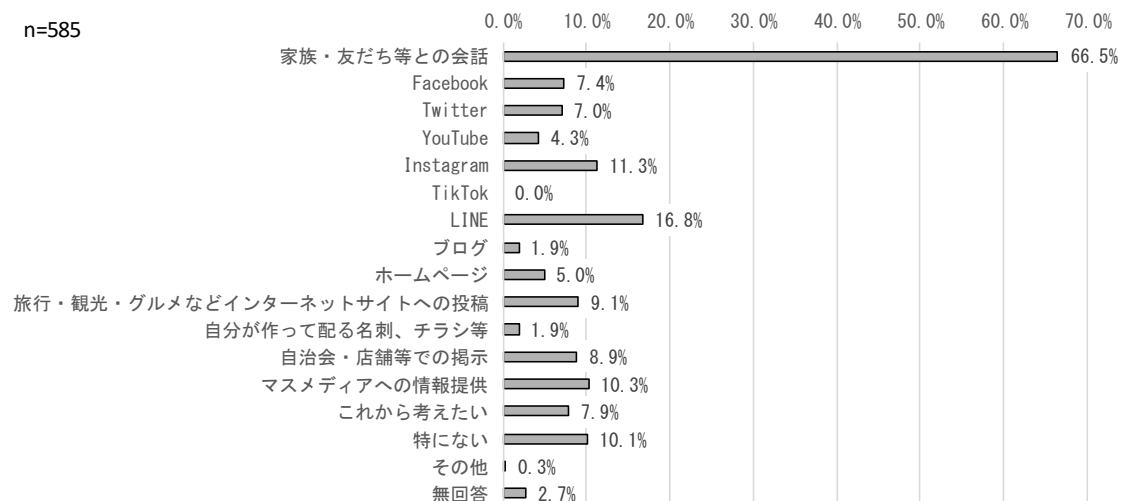


	高砂市公式ホームページでの情報	広報たかさごでのお知らせ	Facebookをつかった市役所情報	アプリをつかった市役所情報	Twitterをつかった市役所情報	YouTubeをつかった市の動画情報	LINEをつかった市役所情報	TikTokをつかった市の動画情報	Instagramをつかった市の写真情報	マスメディアでの高砂市の取り上げ	自治会回覧、ポスター・チラシ	ロコミ、インターネット上での情報	市長や職員による説明会	特にない	その他	無回答
女	50.3%	69.2%	3.5%	20.1%	3.1%	6.9%	12.6%	0.0%	6.9%	10.1%	29.6%	3.1%	3.8%	2.2%	0.6%	1.6%
男	56.9%	59.9%	4.2%	25.6%	5.3%	6.9%	11.8%	0.4%	4.2%	21.0%	27.1%	5.3%	10.3%	3.8%	1.1%	1.9%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	高砂市公式ホームページでの情報	広報たかさごでのお知らせ	Facebookをつかった市役所情報	アプリをつかった市役所情報	Twitterをつかった市役所情報	YouTubeをつかった市の動画情報	LINEをつかった市役所情報	TikTokをつかった市の動画情報	Instagramをつかった市の写真情報	マスメディアでの高砂市の取り上げ	自治会回覧、ポスター・チラシ	ロコミ、インターネット上での情報	市長や職員による説明会	特にない	その他	無回答
39歳まで	52.2%	43.9%	7.6%	29.3%	11.5%	8.3%	18.5%	0.0%	17.2%	13.4%	15.3%	7.0%	1.9%	5.1%	1.3%	0.6%
40歳から64歳まで	63.4%	70.3%	3.4%	27.6%	2.2%	5.2%	14.2%	0.4%	2.2%	12.9%	19.8%	3.9%	6.5%	2.2%	1.3%	0.4%
65歳以上	41.9%	76.4%	1.0%	11.0%	0.5%	7.3%	4.7%	0.0%	0.0%	19.4%	49.7%	2.1%	11.0%	2.1%	0.0%	4.2%

問 2 1 地元の良さを伝える方法（複数回答）

「家族・友だち等との会話」が 66.5%と最も高くなっています。年齢別でみると、「65 歳以上」の方が自治会、マスコミを利用する方が多いのに対し、「65 歳以下」の方は LINE や Instagram をより多く利用しています。

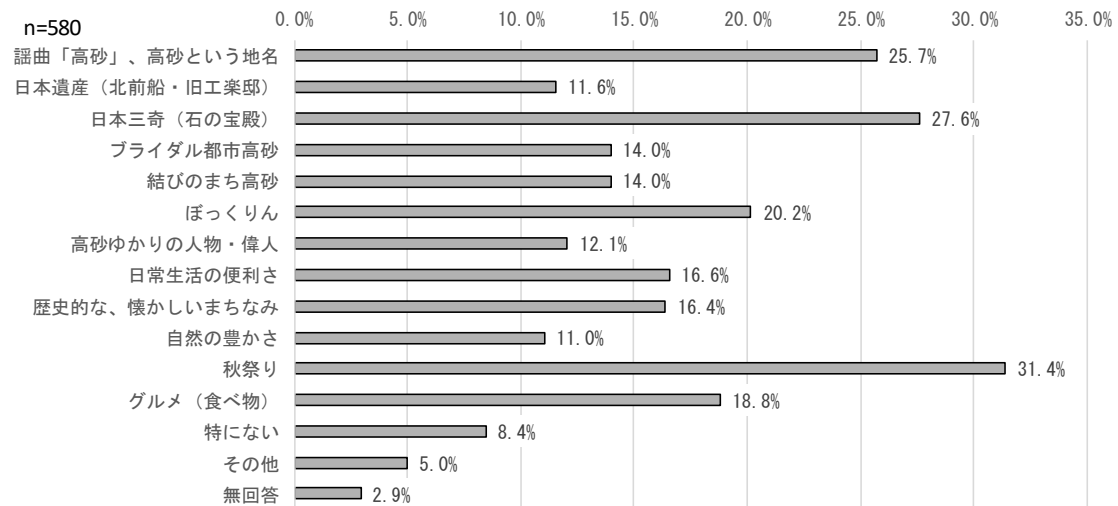


	家族・友だち等との会話	Facebook	Twitter	YouTube	Instagram	TikTok	LINE	ブログ	ホームページ	旅行・観光・グルメなどインターネットサイトへの投稿	自分が作って配る名刺、チラシ等	自治会・店舗等での掲示	マスメディアへの情報提供	これから考えたい	特になし	その他	無回答
女	72.0%	5.0%	5.0%	1.6%	14.2%	0.0%	18.8%	1.9%	1.6%	7.5%	1.6%	6.9%	8.5%	6.3%	8.2%	0.0%	2.8%
男	59.9%	10.3%	9.5%	7.3%	8.0%	0.0%	14.9%	1.9%	8.8%	10.3%	2.3%	11.1%	12.6%	9.9%	12.2%	0.8%	2.7%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	家族・友だち等との会話	Facebook	Twitter	YouTube	Instagram	TikTok	LINE	ブログ	ホームページ	旅行・観光・グルメなどインターネットサイトへの投稿	自分が作って配る名刺、チラシ等	自治会・店舗等での掲示	マスメディアへの情報提供	これから考えたい	特になし	その他	無回答
39歳まで	71.3%	9.6%	14.0%	6.4%	28.0%	0.0%	17.8%	2.5%	1.9%	8.3%	0.6%	1.9%	4.5%	4.5%	8.9%	0.0%	1.3%
40歳から64歳まで	68.1%	9.5%	7.3%	3.4%	8.6%	0.0%	21.6%	1.7%	6.0%	10.3%	3.4%	6.9%	8.2%	9.1%	8.6%	0.4%	1.7%
65歳以上	60.2%	3.1%	1.0%	3.1%	0.5%	0.0%	9.9%	1.6%	6.3%	7.9%	1.0%	17.3%	17.8%	9.4%	12.6%	0.5%	5.2%

問 2 2 高砂市のまちをアピールするため、活用すればいいと思うこと (複数回答)

「秋祭り」が 31.4%と最も高くなっており、次いで「日本三奇(石の宝殿)」が 27.6%となっています。

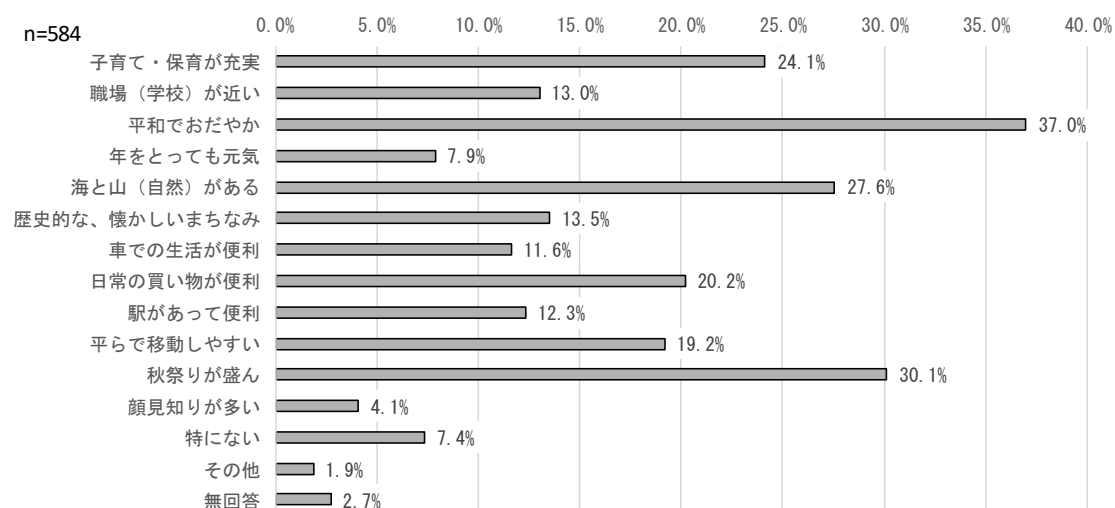


	謡曲「高砂」、高砂という地名	日本遺産 (北前船・旧工業邸)	日本三奇 (石の宝殿)	ブライダル都市高砂	結びのまち高砂	ぼっくりん	高砂ゆかりの人物・偉人	日常生活の便利さ	歴史的な、懐かしいまちなみ	自然の豊かさ	秋祭り	グルメ (食べ物)	特にない	その他	無回答
女	25.5%	11.6%	28.3%	11.3%	13.5%	23.6%	8.5%	14.5%	17.0%	11.0%	30.5%	18.2%	8.2%	4.1%	1.9%
男	26.0%	11.5%	26.0%	16.8%	14.1%	16.0%	16.0%	18.3%	15.6%	10.7%	32.1%	19.1%	8.8%	5.7%	3.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	謡曲「高砂」、高砂という地名	日本遺産 (北前船・旧工業邸)	日本三奇 (石の宝殿)	ブライダル都市高砂	結びのまち高砂	ぼっくりん	高砂ゆかりの人物・偉人	日常生活の便利さ	歴史的な、懐かしいまちなみ	自然の豊かさ	秋祭り	グルメ (食べ物)	特にない	その他	無回答
39歳まで	15.3%	6.4%	25.5%	15.9%	21.0%	34.4%	11.5%	19.7%	10.2%	6.4%	36.3%	22.3%	7.6%	7.0%	1.3%
40歳から64歳まで	22.8%	10.8%	22.0%	15.5%	11.2%	21.6%	11.6%	19.0%	16.4%	11.2%	28.0%	23.7%	8.6%	5.6%	0.9%
65歳以上	37.7%	16.8%	35.1%	10.5%	10.5%	6.8%	12.6%	9.9%	21.5%	14.1%	30.4%	9.9%	8.9%	2.1%	6.3%

問 2 3 市内・市外の人に伝わる高砂市の良さ（複数回答）

「平和でおだやか」が 37.0%と最も高く、次いで「秋祭りが盛ん」が 30.1%となっています。



	子育て・保育が充実	職場（学校）に近い	平和でおだやか	年をとっても元気	海と山（自然）がある	歴史的な、懐かしいまちなみ	車での生活が便利	日常の買い物が便利	駅があって便利	平らで移動しやすい	秋祭りが盛ん	顔見知りが多い	特になし	その他	無回答
女	25.8%	10.1%	35.8%	9.4%	27.7%	11.9%	9.4%	20.1%	13.8%	17.9%	31.1%	4.1%	7.9%	0.9%	3.5%
男	22.1%	16.4%	38.9%	6.1%	27.5%	15.6%	14.1%	19.8%	10.7%	20.6%	28.6%	4.2%	6.5%	3.1%	1.9%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	子育て・保育が充実	職場（学校）に近い	平和でおだやか	年をとっても元気	海と山（自然）がある	歴史的な、懐かしいまちなみ	車での生活が便利	日常の買い物が便利	駅があって便利	平らで移動しやすい	秋祭りが盛ん	顔見知りが多い	特になし	その他	無回答
39歳まで	32.5%	14.6%	40.8%	4.5%	20.4%	7.0%	14.0%	20.4%	15.3%	18.5%	35.0%	6.4%	3.8%	1.9%	1.3%
40歳から64歳まで	25.4%	14.2%	29.7%	6.5%	30.6%	15.5%	11.6%	20.3%	10.3%	17.7%	28.4%	2.6%	9.5%	2.2%	2.2%
65歳以上	15.7%	10.5%	42.9%	12.6%	29.8%	16.8%	9.4%	19.9%	12.6%	22.0%	27.2%	3.7%	7.3%	1.6%	4.7%

3 高砂市の施策全般について

問24 高砂市について感じていること（自由記述）

分野	感じていること
出産・子育て支援	助成金が少ないことと、どんな制度があるのかの情報の発信がないことが不満。
	出産・子育て支援に力を入れることによって、高砂市の人口増につながっていくと思います。
	少子高齢化に伴い、人口減少で町全体の活気がなくなって来ていると感じています。
	家庭及び近くで子どもが遊び回っている姿、赤ちゃんの泣き声が聞こえ、高齢者が寄り合って話をしているような、（むかしなつかしい様な）風情を感じるような町だと思っています。
	もっと他の市のように子育てしやすい環境の充実を進めてほしい。（金的に！）
	人口減を防ぐため子育て支援への積極的な支援の施策をとってもらいたい。
	出産・子育て支援をもっと充実させていかないと、周辺市町村（特に明石市）に若い家族が行ってしまう。
	もっと他の市町村と差をつけて支援する必要がある。子育て世代・子どもの教育に力を入れないと、人口増加は見込めないと思う。
	「出産・子育て支援」について、高砂市が実施している内容を知りませんが、おおいに支援してほしいと思います。（今一番大事なことだと思います。）
	子育てにやさしい、お年寄りにやさしい高砂市になってほしい。
	他市も同様とは思いますが、夫婦共働きの世帯への子育て支援はまだ不十分だと思います。
	助成金を増やしてほしい。
	妊娠中に加古川市から高砂市に転居してきた。加古川市では父親学級が行われていたが、高砂市ではやっておらず残念に思った。出産後は保健センターの方々にいろいろ相談にのってもらい、子育て支援センターも充実しているので楽しく子育てさせてもらっている。
	こんにちは赤ちゃん訪問が来ませんでした。子育て支援センター等をとても活用させて頂き、本当に感謝しています。
	子育て支援センターの様な子どもが安心して遊べる場所があればいい。高砂市による子育てに必要な物の支援があればいい。
	子育て世帯の経済的負担削減を推進してほしい。他市に羨ましがられるほどのことをしてほしい。保育料など明石市を見本にしてほしい。とにかく子どもを産みたくなる政策に力を入れてほしい
	予防接種の接種アプリ予約スケジュールがあって病院予約までできる。接種できる時が来たら通知がくる。病気をした時や相談事をアプリやLINEでできる。
	英語教育のイベントをしてほしい。
	出産するときの手続きのチェックシートをスマホでできる。
	出産一時金を増やしてほしい。
	電子手続きできるようにしてほしい。子育てしながら役所まで行くのは大変。

分野	感じていること
	子育てへの対応をもっと良くしてほしい。 少子化と言いながら子どもへの対応が全然。明石市と同じくらい子どもの為に経費などを使って高砂市で住みたいと思わせてほしい。例えば予防接種のロタテックは全額市が持つべきであると思う。また、インフルエンザの予防接種補助を作るなど。子育て支援センターももっと活気があって北部子育て支援センターも綺麗にして欲しい。二階のホールももっと利用すべき。夏は水遊びができるようにしてほしい。休日も利用できるようにしてほしい
	県外から結婚してこちらへ住むようになりました。それまでは高砂市という市があることすら知りませんでした。育児中ですが、医療の助成があり子育てしやすい町だなと思います。しかし、この育児も外部へ手助けしてもらいたいと思ってもお金が必要で、結局本当に必要な人が使えなかったりするの悲しいです。その辺りの助成もあれば、本当に子育てしやすい町として胸を張って言えるかと思っています。期待していますので頑張ってください。
	高等学校までの支援
こども園・幼稚園・保育園	待機児童が少なく、子どもを預けて働きやすいと思う一方で、公立の延長保育がフルタイムで働く人にとっては預けにくい時間設定になっている。姫路、加古川など近隣の市は早朝7時から預けられるのが普通であり、高砂市はこども園が早くから導入されていても、その保育の中身が他の市よりも遅れているのではないと思う。少子化対策を諦めずに取り組んでほしい。
	フルタイムワーカーに柔軟に対応できないのが困る。働きたい人ほど遠方に出ています。
	保育士不足の原因をよく考えるべき!!保育料無償化の是非を問いたい。
	こども園が充実している。
	夫婦で夫が働いていたら嫁は働かなくても子どもを保育園に入れたら良いのに…。
	3人目が産まれたが、1人目2人目との年の差があるため、保育料が全額負担になる。
	働いて保育料を払うか、年少の無償になるまで3年間働かず育児をするか。
	パートだと子どもが病気になって、働く日数が減ってしまえば保育料に消えるだけで、働く意味がなくなってしまう。明石市のように3人目も無償化にして裕しい。
	2/15、2/16の両日に北浜公民館まつりを開催しました。私も体操と踊りに出場させて頂きました。その中で北浜こども園の出場がすばらしく、微笑ましく思いました。
	また翔武会という空手の発表があり、力強く一生懸命に頑張って発表して下さい、中でも3才の女の子が力一杯に太鼓を叩いて下さって、皆さんが大変喜んで、「よかったよ!」と声をかけると大きな声で「ありがとう」と言っている姿がすばらしかったです。高齢化していく中で大人も子どもも気軽に声かけが出来る町にして行きたいと日々思っています
	息子が来年度からこども園に入園しますが、工事の進み具合や具体的な完成時期の説明がなく、うわさで聞いている状態です。3月の説明会までに完成の目途で構わないので教えてもらえたら助かります。
	荒井幼稚園を3年保育にしてほしいです。よろしくおねがいします。行くところが遠くしかありません。

分野	感じていること
	施策が少ない。
	きくなみ保育園の目の前に生垣があるが、車を駐車場にとめる際、非常に邪魔なので生垣をなくしてほしい。
小学校・中学校	モンスター的な親が多いのに学校（管理職）、市教委が対処できていない。市教委がもっと教師や子どもと向きあってほしい。
	いじめアンケートがいじめを生んでいます。教育の現場が一番時代に乗っていない。未来を担う子どもの可能性を伸ばしているようには見えない。広島のように思いきった方向転換が必要です。先生に余裕を与えて教育の質を向上させるためにどうすればよいか考えられるようにしてください。
	いじめは無くならず、いじめ専門のカウンセラーや担当教師を常駐させて監視や相談を一括してまとめ、現場の教師とチームでやりとりしながら解決して欲しい。担任教師に全て解決させるには現実的に無理。
	特別支援学級の教員が不足していると聞きました。教員の人数の充実は難しいのでしょうか？
	子どもの教育にもっと力を入れてもらいたいです。
	子どもたちが安心して、勉強も遊びも楽しめる町を作って欲しいです。
	小学校、中学校の教育への取組みは良くできていると感じる。
	少子化が進み、子ども、生徒が減少しているのに、現校数での運営は無駄ではないか。生徒が増えた時に学校を増やしていったように、生徒数に応じて縮小も考えた方が良いのではないか。子ども達にとっても、少人数での学習より、多人数の方が良いように思う。
	義務教育について、もっと予算をかけて欲しい。一人一台のパソコン支給や専門的な教科の担当を外部から派遣し、教師の負担を下げる。プログラミングについては、外部の専門の会社がレクチャーするシステムを早急に作って欲しい。昨年の猛暑では、各学校に熱中症対策が丸投げされ教師や生徒の命が脅かされた。高砂市全体で熱中症の指針を作り、毎日の放送で外での活動を知らせるようにして欲しい。
	子どもの人数が減っており、1クラス20～25人の教室なので塾並みの教育と指導を先生から受けることができ、子どもの学力の向上が見込まれる。
	教育環境は優れていると思う。子どもの記憶は将来に影響を及ぼすので、教室、校舎、校庭などの景色も重要です。
	緑と花があふれる環境が感受性の高い子どもの性格形成に役立っていくと考えます。
	校庭には芝生があり、ケガを気にせず、とんだりはねたりして、低学年の子どもはグループで遊んで友人づくりに一役買うのではとも思います。
	都市では運動場はアスファルトやコンクリートでもその表面は緑色のゴム塗装の被膜で覆われています。人工芝のグラウンドもあります。
	神戸市西区の滝川中学校は人工芝のグラウンドです。子どもが喜ばば親も喜びます。一挙両得です。しっかりと緑を管理して秩序ある校庭を整え、校庭、グラウンドに芝生を整備し、付近の住民から土ぼこりの迷惑を解決できたとほめてもらうことも大切と考えます。

分野	感じていること
	小中学校は敷地面積を小さくし、移転建て替え等で学校の名前と歴史は残して欲しい。小さな町に学校の数が多いのは珍しいと思うので、永年残してほしい。
	小学校で使用している楽器が古いという事で、運動会での鼓笛が廃止になりました。運動会の時期が違う近隣の学校から借りる、もしくは市からの助成で楽器の修理や購入はできないのでしょうか？
	小学校の部活では、卓球があるのに中学校でないのはなぜ？
	中学校の部活動が選べるだけの数がない。特に女子。少ない運動部。
	中学校での部活動において、ノー部活デーが導入されました。部活動で汗を流し、青春を過ごさせてもらった親世代は今の現状に対して物足りなさを感じております。中学生に暇を与えてはスマホ、ゲームに夢中になるだけで何もメリットはありません。
	先生方のご負担を考慮すべきなのは分かっていますが…現状に不満を持っている親は多勢いると思います。
	中学校の部活動は、そろそろ学校を越えた連携をしていく時期にきているのではないかと思います。
	新しい小学校を荒井でなく高砂に建てるべきだった。 特急もとまり万灯祭等、昔からの歴史をアピールしているにもかかわらず、子どもが減少し、西友でさえ閉まるのは、何をしたいのか、どこを中心に盛り上げて行くのかを考えられていないと思う。荒井は大会社、大企業メイン、高砂は生活メイン、教育にすべきだったと思います。
	給食の質をあげてください。せめて有機栽培の食材を使用。中学生に至っては量も少ない。広報で紹介された写真は、私が食べていた量の半分です。
福祉・医療	高齢者の介護施設は充実していると思うが、障がい者施設が少ないし、整備が整っていない。障がい者が高齢になった時、入居できるケア付施設も必要だと思う。(知的障害者、ダウン症の方、自閉症の方などの)
	福祉に関して、高砂に移ってきていろいろ教えてもらった。
	福祉について、社協に任せすぎている。ボランティア団体の繋がりが弱い。
	他市に比べ遅れている。努力が必要。
	休日の夕方、子どもがやけどをしてしまい、連絡先を調べましたが慌てていることもあり、見つからず、消防に連絡してもよいアドバイスをもらえず、大変な思いをしました。救急車を呼ぶほどでもないし困りました。これから高齢者が多くなり何が起こるかわかりません。緊急時対応してくれる窓口があればよいかとどこに連絡したらよいかわからないと救急車を呼んでしまったりすると思います。夜や休日は特に困ります。
	子どもが土曜日の夜に発熱して翌日、市政だよりをみて休日の（加古川市内）小児科を受診したところ、午前中に受診しているにもかかわらず、「夜中の１時頃に受診となります」と言われました。１００人まち？とかでした。常識的に考えて、夜中の１時に受診なんてありえないし、もう少しどうにかできないものかな…と感じました。またしんどい子どもをわざわざ加古川まで連れていかなければいけないものなんだかなーと感じました（２０１９年１月の話です）。
	私も含めて今から高齢者がますます増えていくので、どうしても福祉・医療に関心がいきます。

分野	感じていること
	年金生活になり、医療費等の負担が多くなり、生活が苦しい。医療費の負担を軽くできないか。
	高齢者が増えている中で、医療の対応が後まわしになっていませんか？応診してくれるお医者をもっと多くなれば安心できると思います。期待していますよ。
	要支援の方について、認定が要支援 1、2 と出た高齢者について、まだまだご自分でできることがあるのに、支援に入るとは逆によくないのではないかな。残存能力を引き出せるような（今のヘルパー利用では）ケアになっておらず、お手伝いの感覚でヘルパーを利用される方が多いです。
	認定を見直すことはできませんか、また、認定がおりた方に対しても、更新時にリハビリ施設や病院等で ADL の目視を実際にしていただく認定調査員などを決められては？
	要支援の方に対して、ケアマネージャーも一緒に行うということを言われないので掃除婦のような訪問介護員になっています。
	地域包活さんへの指導をお願いしたいです。ますます高齢者が増加します。早目の対応をお願いします。
	遅れている。
	麻疹・風疹の無料検査、予防接種を無料で出来る等の医療の助成を充実させて頂けると幸いです。
	乳児医療の年齢範囲が広い事。
	他の地域に比べ高いので、がん診療など無料にしてほしい。周りでは検診している子育て世代の母親は少ない。
	市民病院の医師、看護師の充実。障がい者福祉施設で就労支援 A 及び B 事業者も増えてほしい。
	今後高砂市民病院がどうなるのか知りたい。民間に委託されるのか。
	市民病院をもっと活用してほしい。
	高砂市民病院をうまく活用できていない。1 階が暗すぎる。いんきくさい。緩和病棟は明るく好印象だった。
	高砂市民病院ではなく開業医が減らなければいい。収入減で赤字の市民病院は皆さんから頼りにされていないということではないのですか？民間に任せましょう。
	隣の加古川市に高度急性期病院が県立、市立とある中で、多額の税金を投入して現状の市民病院の医療提供機能を行う必要があるのか疑問。民間への移管、指定管理も選択肢にあってもよいのでは。
	病院も安心出来る様に市民病院にも力を入れてほしい
	高砂市民病院赤字増やしたらダメです。
	市民病院の存続が話題になっており、高齢者にやさしい高砂市のためにぜひ存続させてもらいたい。
	受け入れに困らないように、近隣とも太く協力し合うようにしてほしい。
	市民病院の整備、強化。
	高砂市民病院の診療科の充実。
	市民病院の評判が悪すぎる。
	高砂市民が入院させてもらえないような市民病院はいらない。

分野	感じていること
	公立病院の経営改革、資金の投入、経営改善 単独世帯（年代問わず）の支援が充実するとありがたいです。 若い世代でも、死後手続の委任などの手続きについて相談できる窓口や資料入手ができれば。
市街地整備・道路	側溝が多く、登下校時心配。 道路の整備について、道のでこぼこが気になる。 車いす、ベビーカー、お年寄りが押している車等、段差が有り、使用しにくいと思う。 車で通過してしまうとわかりにくいウォーキングしていると、足首をくじきそうになる。 市道のアスファルトが割れている！是非、改善を！ 国道二号線（白陵高校のあたり～丸亀製麺）の「荒れたような」感覚は相変わらずです。 姫路の市川橋から別所へと東へ向かって車で移動し、高砂市へ入ってくると、高砂市の酷さがきわ立ちます。これ以上、手の付けようが無いと言われればそれまでですが、空地、空店舗（元ガソリンスタンド、元牛井屋など）放置された様は治安上も良くないかと思います。 ようやく、宝殿駅南の大きな荒れた空地が「コーナン」という店舗になり、一安心。 国道二号線沿いの空地、空店舗にも何とか新たな事業者さんに入っていただき、盛り上げて欲しいものです。 主要な道路は整備されており、歩道もあるので利用しやすいが、住宅地内に狭い道路が多く、日々危険を感じている。特に子連れで歩く際、非常に気を遣わなければならない。 小・中学生の通学路に関しても、同じように思う。 狭い道路については、一方通行にする等、歩行者に配慮した形にしてほしい。 消防車、救急車の入れない所が多い。 通学路も狭くて危ない所も多い。 家の前の道が狭く、居住には静かで車も入って来ないのでいいと思うが、緊急のときには、不安があります。実際、義父が倒れたとき、救急車ははるか遠くにとめて、隊員の方が大変そうでした。 また、通れません!!の看板があるにもかかわらず、軽自動車が入って来て、通り抜け出来ず、バックで戻る、ということがよくあります。…まあたまにで、ふだんは静かで、いいんですけど… 道路の幅が狭く、徒歩や自転車での移動がしにくい。 姫路に住んでいた頃は、歩道もしっかり整備されており、積極的に徒歩や自転車での移動ができていた。 自分が歳をとって車に乗れなくなった時、不便な町とを感じるだろうと思う。 住んでいる所が陸の孤島的な所なので、トンネル（坂）や、山を迂回しなければ隣町に行くのに不便。自転車だと坂はつらい。迂回する道は歩道が狭く、車が怖い。 北浜小学校、鹿島中学校通学路の危険 北浜トンネルが狭くて、歩道も相対がぎりぎり。牛谷地区は、北浜小学校への通路、北脇、西浜地区は鹿島中への通学路。今まで、事故が起きないのが不思議です。北浜地区は、山あり川あり海あり自然に恵まれて住みやすいところと思っていますが、他所の人から見ると住みにくいところとわかれて

分野	感じていること
	いるのか、JR 曾根駅も近いのに、一向にその価値も認められません。
	もう一本、トンネルの増設を切に希望します。
	JR、山電、幹線道路があり便はいいが、活気のあるエリアが少ない。再開発が必要だと思う。
	駅があるメリットを全く活かしていないと思う。
	何かに向けて取り組んでいるのかいないのか、高砂駅や宝殿駅が30年たってもこのまま放置されていると思う。駅があるメリットをいかして長期的に考えて欲しい。人が本当にいなくなるような気がする。そろそろ考えてみませんか。
	買い物に姫路や加古川へよく出かけますが、隣の市に比べ、高砂市の整備が遅れているように思います。財政的な問題もあるかもしれませんが、あまりにも長い間、市街地整備や道路の整備が停滞しているように思います。市のトップの方々の将来に対するビジョンが見えません。
	他市に比べ遅れている。努力が必要。
	閉塞感の打破。未来志向の都市計画
	昔から都市計画が甘く過去を引きずっている。反省して欲しい。
	市街地整備に、市の積極的な提案も必要。全般的に、市街地に緑が少ない。
	姫路市と加古川市に挟まれています、両市に比べ活発さが無い。市街化調整区域を大きく見直し、住居地と商業地に解放して欲しい。
	道路工事（同一箇所）が頻繁に行われており、長期計画性を持って進めて欲しい。
	河川整備事業を行っているが、今、何をしているのか？不明。 いつからいつまで、何を行っているのか具体的に明確にして欲しい。
防災・防犯・消防・救急	防災（地震、津波等）をしっかりしてほしい。 台風等も大型化して被害が大きくなりますので、対応等をお願いします。（情報の伝達、避難経路、方法等）
	高砂の人たちは防災意識がかなり低いと思う。ほとんどの人たちが、「この地域は災害が少ないんだ。」と言って、お水すら備蓄していないことに驚いた。
	もし大地震が来て、津波や予震などがある場合、現在避難場所となっている古い小学校や中学校に避難することに不安がある。
	自治会役員等のなり手がない。
	浸水対策の効果が出ている。
	一部の人が長期に渡りご苦労されている。
	住民全員が、地域の活動にもっと参加するような仕組の構築が必要。
	近くで火事でもないのに夜中にサイレン（防災スピーカー）を鳴らすのはやめて欲しい。そんな田舎的なことをしては住む人も減るはず。第一、本当に危険な時に”あーいつものね”と慣れて寝てしまうこともあると思います。消防団の連絡のためなら今どき携帯があるでしょう！ こんなことから時代に乗って下さい。住みやすい町の第一歩です。

分野	感じていること
	ちなみに、夜中のサイレンでドキッとして起き、それから心臓がバクバクして次の日に病院にかかった人がいる。
	午後5時（6時）にアナウンスされる児童への放送が、うるさすぎる。何回も市に申出しても改善されない。何を言っても改善されないという”あきらめ”は良い施策にはむいて行かないと思うが！
	親の家も泥棒に入られたり、鍵をかけていても店先で自転車を盗まれたり、原付バイクも盗られました。昼間にパトカーが巡回しているのを見る時がありますが、出来る範囲でもっと増やして欲しいと思います。
	子どもや高齢者の交通事故防止と防犯。
	小学校に子どもが通っているのですが、高砂市のアプリが開始したので、防犯面で地域の不審者がよく出る場所などにカメラを設置して頂けると嬉しいです。 (確か加古川市は市内の定位置に防犯カメラがあり、アプリで確認できる様なことでしたので)
	まだまだ暗い道路が多く、女の子を持つ母親としては電車を下りてから自宅へ帰るまでドキドキします。せめてもう少し明るくし、防犯カメラが揃えば性犯罪も減少すると思います。
	近所に空き家が増加し、防犯上不安を感じている。
	空き家が多いので、夜が物騒。
	街灯少なすぎだと思います。
お店・観光	遠方からでも訪れたいような魅力的な店などがあると嬉しい。
	他市にないような店とかがあれば、若い人などに来てもらえると思う。公園の整備もして、有料の遊べる施設も作ればよいと思う。
	県内外からも人がお買い物したいと思う施設を作ってほしい。例えば、アウトレットモールや、コストコ、イケア等、魅力的な施設。併設されている病院があればなお良し。
	お店的にももっと楽しい施設がほしいです。
	子どもを遊ばせようとしても公園等以外で遊ぶ施設は本当になく、アスパのみと悲しいです。
	アスレチック的な公園を増やしてほしいです。高砂の自然が大好きなので♡
	高砂は商業施設が少なく、他の市と比べるととても魅力的な町とは言えないと思います。
	住みやすい町ではあると思うが、活気がない（少ない）ように思う。
	町の活気という面は加古川に比べ、少ない様に感じる。
	何か特長のある町づくりが必要だと思う。
	山陽電車を利用して感じたことで、高砂市内で人がよく乗り降りに利用する駅と言えば、高砂駅や荒井駅が挙げられるが、この人がよく利用する駅と加古川市、明石市や他の町での利用者の多い駅前を山陽電車利用中の車窓からの眺めで比較すると高砂市内の駅は少し静かで活気が少ない気がした。また高砂駅から南へ下った商店街では古い店はシャッターを降ろしていることが多いように感じた。
	お店（商業施設の充実）大型店舗誘致（アスパしかない）

分野	感じていること
	総合店がイオンしかないのに、その中が最近殺風景。子どもが行きたがるような店（以前ではティンクルなど）が全くない。子どもと行こうと思わない。若者はニッケに行くばかり。高砂市にはスポーツ用品店がない。
	高砂までわざわざ来なければならないお店などが無い。
	高砂には何も無い。大きなショッピングモールができてほしい（イオンモール、アウトレットなど）。おしゃれな店が全くなく、遊びやショッピングやお茶するにも、市外に出るしか仕方ない。
	駅の近くにケーキ屋さんがないので作って欲しい。ランチで行ける所が少ないので、もっと出来て欲しい。
	よいスーパーが高砂市内にない。
	スーパーが駅から遠い。
	コンビニのあるところとなじみの偏りがあると思うので、もっと色々なところにあってほしい。
	買い物がとても不便。ちょっと買いたいものがあってもすぐ近くにお店がなく困っている。
	買物に行く店がない。
	食料品等日用品は市内で買物するが、衣料などは他市へ行っている
	映画館やCDを購入出来る店舗を作って頂きたい。
	店が少ない。マクドが近くに欲しい。
	高砂あきんど券を使いたい店が少なすぎる。
	近いので、買いたい物がある店が、加古川市であったりとか、いつも利用している店が、取扱店でなくて、ガッカリです。姫路のように魅力ある店が少ないのをカバーする為にも、次回は高砂市の全部の店が使えるぐらいの勢いで参加店募集に力を入れて欲しいです。
	既存の魅力を活かしつつ、新しい魅力を作る!!
	もっとお洒落でキレイな町並みにしてください。現在は市内のあっちもこっちも小汚い町並みです。昭和のまま時間が止まっている。特に高砂、曽根、阿弥陀…。それと高砂市はNHK神戸も滅多に取材に来ない市、ネタになるものが何にもない市ですが、それを何とかしてください。秋祭り、焼き穴子、にくてんはもういいので（若い世代への魅力にはならない）、他に何か誇れるものをつくって他の地域に住む若い世代や企業を呼び込まないとこの市の将来はありませんよ。
	明姫幹線沿いの開発が早く進むといいと思う。
	駅がたくさんあっていいのですが、買い物が不便なことに困っています。
	JR、山電各駅前の活性化と駅前にコンビニばかりではなく、日常の買い物が出来る小売店が欲しい。
	駅前が発展しないし、店舗のまとまりがない。道路（駅の周辺）もスッキリ美しくない！ 自転車を置いている場所が駅に近いが汚く、駅周辺の美観が良くない。自転車置き場を建ててスッキリしてほしい。
	今は高砂に住んでいるが、これから年をとるにつれ、このままここで住み続けるにはすごく不安があります。子どものいない者にとってまわりの環境、交通の便、いろいろな事に不便を感じるでしょ

分野	感じていること
	う。いまのままでは、終のすみかにはなりません。
	高砂駅前が非常に廃れています。早く商業施設の建設をお願いします。買物難民になってしまいます。
	最後にお願いしたいことがあります。多くの高砂町内の人がスーパーが無いから困っています。他の事も大事だと思いますが、もっとスーパーづくりに力を入れてください。
	高砂町に商業施設を作ってほしい。じょうとんバスの活性化。
	お店が少ない。特に山電高砂駅周辺。サンモールは何とかして下さい。
	高砂駅前が何も無い。早くサンモールにて衣食買い物できるようにして欲しい。近くにないので加古川や職場近くで買い物しており不便です。
	サンモールが無くなり買物が不便になり、近くの住人が困っています。早く店ができる事を付近の住人は待っています。
	西友がなくなって以来、高砂町にスーパーがなく、とても不便に感じています。
	高砂駅周辺開発を進めてもらい、観光地としてアピール。商業施設を充実させて欲しいです。町内に歴史的町並み、商店街があっても、買物できないので、客足・人の流れが悪い。
	高砂町は、買い物難民が多く、本当に困っています。特に、新鮮な食料品を入手するのに難しい状況です。仕事に出ている働き世代の人間に、食生活は命の源です。市民を思うなら、最低限の生活が送れるよう、せめてスーパーを誘致して頂きたいです。また、本屋や文具店など、文化的な商業施設が欲しいです。子育て世代をもっと呼び込むための施策、まちづくりを期待しています。
	西友廃止の対応が全くなされていない。買い物難民と高砂駅周辺が錆びれてしまった。
	西友の跡地の利用を考えてほしい。高齢社会となり、高砂駅南側は西友が撤退し、閑散としています。買物に行く度、タクシーを利用している方もいます。跡地に食料品が揃うお店ができてほしいです。
	高砂市は他市に比べ、特に自慢出来る事が少ないような気がする。
	道の駅等の設置
	人が集まる観光施設の充実。
	多くの市民にとって年間最大のイベントである秋祭りは高砂を代表するものだと思うし、工芸品、美術品としても価値が高く、「播州屋台博物館」の様な施設を作って観光の名所にする事も考えてはどうか。
	日笠山の桜、縄文人の家が出土した貝塚などをもっとPRすべき。
	市外からわざわざ高砂市に来ようと思うようなお店や施設が全く無い。 ブライダル都市高砂という割には特別な事を何もしていない。(していたとしても、していることを知らないから意味が無い)

分野	感じていること
	高砂市に住んで36年目ですが、姫路に出勤して60才で定年を迎えました。退職しても余り知り合いもいませんでした。地元の人間でないと輪に入れないのを感じた時期もありましたが、現在はだいたい慣れてきましたがもう少しです。また、今からは良い所を探して、知人に高砂のPRができるよう高砂の市民になれますよう精いっぱい頑張って楽しい人生をおくりたいと今回の調査で考えさせていただきました。
	観光についてですが、石の宝殿は落ちない⇒受験に強いとか高砂神社は縁結びとか…パワースポットのような形でのイメージづけができれば良いのでは？と思います。 この間、東京から来た友達に「ぼっくりングッズ」をあげたらかわいい!!と喜んでもらいました。 若い女性や子ども受けが良いと思います。
	高砂神社、尉と姥神社、相生松、謡曲「高砂」をもっともっとマスメディアなどで紹介する機会を増やしてほしい。『高砂』の名前を全国の人が分かるように宣伝する。
	パンフや冊子でさらに内外にアピールしていく。
	自然に恵まれ平和でおだやか住みよい町です
	最近高砂市に嫁いできたのですが、こちらに住むまで、正直高砂市に来る機会がほぼなくて、通り過ぎることが多かったです。なので、お店や観光などで何かひきつける物があれば、それが目に留まって立ち寄ってもらえるのではないかと思います。周辺の市では度々テレビにとり上げられる事があるので、そういうのも活用して宣伝していけば良いと思います。最近、大阪に住む知り合いに高砂市に住んでいると言ったら、高砂市がどこかがよく分かっていませんでした。さすがにそれはショックだったので、私自身もできる事はやっていきたいので、発信力は大事だなと思いました。
	他市では社会経験者や就職氷河期の方の採用をしていると思います。 新卒でいちから育てるのも良いとは思いますが、民間や様々な経験をしてきた方を採用することにより、様々な角度から物事について考えることができる職員の方が増えるのではないかと思います。
市役所職員	高砂愛がない人が多い。市役所の職員は自分の職場である高砂市の事をもっと知るべき。高砂市在住者にすべき。
	愛想がない方もけっこういる。
	市役所で働く人が、話しかけにくい。愛想がない。(高砂市) アンケートを出すなら、お礼の手紙、はがきでもあればうれしいです。
	何事に対しても、迅速に物事を進めてほしい。また、他の自治体の職員と比較し、レベルが低い。 市民が何を考え、何を期待しているか、アンケートを記入させる前に、よく考えろ!!
	市役所の職員の対応が 物凄く悪いし、感じ悪いから、高砂市を良くするには、まず市役所の職員の教育大前が必要なのでは…いい大人の教育をするなんて、高砂市の恥だと思います。市民が尋ねるのは、わからないから聞くのであって、丁寧に対応すべきだと思う。
	職員の人が、公用車で勤務時間中に、にこにこポイトを押しに来たり、窓口対応で親切さにかける人と親切な人との差がありすぎると感じます。本庁へ来庁して挨拶を自らして下さる職員さんに対して、嬉しく思いますが、知らない顔をする人もいて差がありすぎるのは残念だと思います。

分野	感じていること
	一般企業の社員と比べて職員の対応が悪い。
	市役所の方の対応も、もう少し機敏にして 私語は市民に聞こえないようにするべきだと思います。 (仕事中のだから当たり前)
	私は国民保険料を滞納しています。先日高熱が出て病院へ行きたいのですが、保険証がなく、保険課に連絡しました。しかし、全額払ってもらわないと保険証を渡せません！といわれました。 私の勝手ですが、もう少し担当の方がおおらかな人でしたらよかったです、職員さんもいろいろおられますわ。
	(市役所職員) 本当にありがとうといいたい。
	市民がではなく、市を支える職員として自分がどうしたいかを発言し、動ける環境を作ってください。人の才能を潰しすぎです。活かしてください。市役所には素敵な人財がたくさん眠っています。
	このアンケートのようにふわっとしている
	縦割り行政
	行政と市民が力を合わせ何かをやることがない。双方向の動きが欲しいところ。ドッチボールでなくキャッチボールが出来れば嬉しい。
公共交通	山電高砂駅周辺の開発
	荒井駅に常に直通特急がとまるようにしてほしい。
	駅周辺を使いやすくしてほしい。特に JR 曾根駅は車いすやベビーカーで駅の南側からでは利用できない。
	JR 曾根駅周辺の活性化に取り組むこと。
	JR 曾根駅までの移動で特に高齢者は駅南側からの陸橋の階段からの移動が負担である。南側から上がれるのが理想。JR では曾根駅だけではないか。
	JR 曾根駅南側に改札をつくってほしい。現在南側から JR 曾根駅の改札（北側）に行くには歩道橋を渡らないといけません。高齢者、足の不自由な方は大変です。私が高齢者になり、この歩道橋を渡るとなると不安に思います。なので、ぜひ南側に改札口を作ってもらえたらと思います。
	JR 宝殿駅、JR 曾根駅どちらか特急が止まるようにしてほしい。 駅及びその周辺の整備が必要となります。 駅南側へのアクセスも必要、駅にバスを配備して主な箇所を周れるようにする。以上、
	宝殿駅を利用するが、加古川駅より東と比べて電車が少ない。 宝殿駅前がさびしく感じる。 宝殿駅の駐輪場を整備して欲しい。 宝殿駅と曾根駅の間に駅を作ってほしい（姫路のように）。
	JR 宝殿駅～曾根間は非常に距離があり、新駅の余地を十分残している。JR 大久保駅前の例にならい、活性化を図っていくべき。
	JR を利用して少し遠出をしようとした時、荷物や帰宅時間のことを考えて駅まで車で行きたいのです

分野	感じていること
	が、最寄の曾根駅には手頃に利用できる駐車場がなく、いつも姫路の方を利用してしまいます。 JR も山電も自転車で行ける距離ではありますが、夜は人通りも灯りも少なく自転車だと怖いです。 駅近くに駐車場ができると利用しやすいのと思います。
	JR 宝殿駅～国道 2 号の道路拡幅計画があるのに整備に向けた動きが見えない。
	姫路、加古川をつなぐ 3 市の交通網の充実、実現 コミュニティバス等で駅につないでほしい。 できれば直通の交通手段がぜひほしい。 両市共有の手段、路線がほしい。
	JR 加古川駅へつながりやすくしてもらいたい。
	南北の交通網の充実 じょうとんバスの充実
	JR、山陽電車をつなぐ交通手段が少ない。 JR 沿いの人々は南側に行く事はあまり無く、山電沿いの人々は買い物等で困っている…という話は、高砂市に住んでいる人とよくします。
	じょうとんバスが市内を走っていますが、JR と連絡ができてなくて不便であると高齢者が言っている（電車待ちが長い）。
	市内での移動手段（バス）を増やしてほしい。JR～山電の行き来が不便です。
	コミバスの充実 山電—JR へのアクセスの更なる充実 高砂市—加古川市コミバスの乗り入れ
	全国的に高齢者の自動車事故が増えていることから、高齢者の移動手段を自動車以外にシフトしていく必要があると感じている。その為に、バス等の路線、本数を増やすことから始めてみてはどうかと思う。
	午前早朝の時間を増やしてほしい、駅まで行くのに役に立たない。
	バスの便数を増やしてほしい。 バスの時間、夜間も運行してほしい。
	市のコミュニティバスの運行時間の延長（夜の時間）、本数を増やして欲しいです。もっと便利で助かります。
	じょうとんバスの本数を増やす。ルートを見直す。
	じょうとんバスをもう少し増やしてもらえたらもっと利用したいです。
	バスの本数と路線の種類を増やしてほしいです。
	バスの便が少ない。
	公共施設や病院などへの利便性向上のためバスによる移動支援の充実強化を望む。本市は市域も狭く路線網の整備に有利である。
	病院に行く方法が難しい。バスを増やす。

分野	感じていること
	車に乗れなくなり不便→タクシーなどの割引チケットなど色々と考えてほしいです。
	高砂市民病院が閉鎖した時、加古川中央市民病院へ行くのに困る。直通バスを用意して欲しい。
	市役所、市民病院が遠く 自転車に乗らない方は不便に思う。公共交通（特にバス）の充実が必要ではないか。
	高砂市民病院へ行くのも不便だとも聞く。テレビで見るが田舎の乗り合いバスを考える方がいいのでは…。家の前まで来るような。
	道路が広く、交通量の多いところの停車場はこわいらしい。（中筋地区）
	バスのノンストップ（図書館前）を全部止まるよう願います
	じょうとんバスの実効ある改革。 ①市内在住職員のマイカー通勤の禁止 市職員の通勤に活用。 ダイヤの見直し。増便。 ②高齢者運転免許返納者への無償化、終生。 ③高齢者（ex. 80 才）以上の無償化。
	じょうとんバス料金を 70 才以上は無料にしていきたい。
	すぐ近くの病院に行くのにタクシーを使いたいが、お金もうけにならなくて申し訳ないと思ってタクシーを頼めない高齢者がいます。近くでも心よくやさしいタクシーの人ばかりだとよいが…
	このアンケートを答えながら、多数の意見が尊重されていくのだろうか。果たしてそれでいいのだろうかと考えました。最低限の生活ができていないことがあるならば、少数の意見であってもそれを最優先していくべきではないだろうかと思いました。 近所の一人暮らしの高齢者の方は、自分で車の運転もしないので 買い物に行くにも不自由です。数年前までバスが通っていましたが、それも廃止されてしまいました。採算ということもあるかもしれませんが、本当に困っている人に手が差しのべられる市政であってほしいと願うばかりです。
公園・公共施設	大型遊具がある公園がもっと身近にあればいいのと思う。今は車でないと行けない距離なので、総合運動公園の中にあれば便利。
	アスパに小さな子どもが走りまわれる場所があれば良いのに… 公園に運動器具とかは？よく高齢者が体操しているし… 高砂市の人は好き勝手言いますが高砂大好きです。よくして頂きありがとうございます。
	世界的にストリートワークアウトという、ざっくり言うと公園トレーニングが流行っているの、大人向けの雲梯や高鉄棒、平行棒がある公園を作って頂きたい。参考例としては大阪の県都レールサイド公園。それを作るメリットとしては、健康志向の向上、市民の新しいコミュニティの場の提供、ジムとは異なりお金をかけずに行えるフィットネスの浸透、市民の自己表現の場、共に成長し合える仲間が出来る、地域が目玉スポットになる等が挙げられる。実際に沖縄県、東京都、大阪府等ではそういった場として注目を浴びている。詳しくは YouTube でストリートワークアウトを調べて頂きたい。よって、大人向けの公園の制作をお願いします!可能であれば、数ヶ所。

分野	感じていること
	公園の有効活用、もっと利用する人を増やす方策を考える。
	市外の人が訪れ、一日過ごせる様な公共施設や公園等を造り、休日を過ごせる場所を造る。
	立派な体育館や球場、グラウンドがあるのにもっと利用をアピールして欲しい。生石体育館の予約をネットでできるようにして欲しい。都会でも田舎でもなく、ちょうど良い高砂、住みやすい高砂をもっとアピールして、住む人が増えて欲しいです。
	公園が古すぎて危ないところもある。子どもが走りまわって遊べる場所が少ない。公園が狭い。
	もう少し公園などどんなものがあるかマップがほしい。どこにどんな遊具の公園があるか知りたい。
	市ノ池公園をもっと進化させてほしい。
	他市に比べ遅れている。努力が必要。
	現在ある既存の公園（市の市ノ池公園、向島公園、総合運動公園等）が古く、小学生以下の子どもが楽しめる道具が無いので周辺の市町村に出かけてしまう。 高砂市にも無料で遊べる新しい遊具のある公園を整備してもらいたい。 そうすれば若い子ども連れの夫婦が集まり、高砂市に住みたいと思ってもらえるかも知れません。 参考として周辺の市町村にある公園として、小野市 ひまわりの丘公園、三木市 三木っ子ランド、姫路市 御立公通公園、加西市 丸山総合公園 等です なお、隣の加古川市にも魅力的な公園はありません。
	ボール遊び等ができる大きめの公園。近所の道でボールを蹴って遊んでいる子がいる。家の壁や、玄関扉にバンバンあたっているので遊ぶ場所がないのかな。
	公園の砂場で遊んでいる子を見なくなってきたので、定期的に抗菌砂をいれることは難しいのかなと思います。
	公園の木が近隣の民家の迷惑になっている。公園の中心の方に植えて夏は木陰を作って遊んだり、休憩したりできると熱中症対策にもならないか。特にならの木（どんぐり）の実がいっぱい落ちて、子どもは拾わないので隣の畑に芽がいっぱい出てきて、毎年手入れに困るとのこと。 真ん中が広いと野球をする子も多い。（中学生）
	公園の整備（運動公園）
	１．高砂の総合運動公園において、陸上競技場及び野球場、サブグラウンドの利用者は非常に多いです。特にイベント等で他の町から来られた人が外でトイレを使われますが、現状ではトイレの数が少ないと思います。 屋外のトイレの数を増やすこと、又、トイレを充実して欲しい。 今までトイレに困っている人を何人も見ました。（屋内のトイレが使用できない日は、特に現状では困ると思います。） ２．屋外トイレがどこにあるのかの案内表示をもっと増やして下さい。（公園に行っていると、よそから来た人に、よくトイレはどこにありますかとたずねられます。） ３．総合運動公園内の案内表示のわかりやすい掲示板を増やして下さい。
	公共施設を充実させて頂きたい。

分野	感じていること
	子どもが放課後遊んだり勉強したりする場がどんどんなくなっている。実際に公園は近所の方から「うるさいから子どもはボール遊びしてはいけない」や「出禁の公園」もあると学校から指導され、遊びに行く公園がありません。
	ユアアイ帆つとセンターもできたころは中学生や小学生も宿題を持って行っておしゃべりしたりしていたようですが、騒がしいからとそこも子どもで行ってはいけないと学校より指導があった様です。子どもたちが安心して育つ環境を整えてほしいです。
	児童館がなく、小学校からの子ども達が集うところがない。
	公園施設の充実。
	市の池公園も自然があるが、もっと自然の中で遊べる遊具があれば、もっと利用しやすい。
	浜風公園もロケーションがとていいが遊具が少なく赤ちゃんが遊べるような遊具もあればいい。
	映画のロケ地誘致をしてもらい、全国的に知名度を高めればいい。
	児童館がない。
	長期休みの時に、幼児と就学児と一緒に遊ばせられる場所がない。
	各小中学校にスクールカウンセラーの配置や労働相談等、隔月でも良いので色々な相談を出来る窓口が欲しい（インターネットからも可能）。
その他	図書館・市役所の分室が宝殿駅前にあれば便利だと思う
	図書館の駐車場が土日のAMなど満車で、イベントなどに間にあいません。何か対策よろしくおねがい致します。（徒歩などではいけない距離です）
	今は調整区域になっている東西播磨をつなぐ場所である明姫幹線沿線に、高砂市の誇る歴史や祭りなどを提示する博物館を作り、高砂の良さを身近に感じてもらえるような施策が欲しい。
	石の宝殿や昔の白砂青松が復活するような環境整備とイベント・PR。
	海岸部に一部でも白砂青松を復元できないか。（もともとそんなもの無かった神戸市でもやっている） 竜山全体を石の宝殿を含めて一大公園施設とし、春秋（桜や紅葉）の市民の憩いの場とする。 松について日本を代表する研究所を設立する（松枯れの原因と防護等）。併せて市内の街路樹は全て松とする。
	高砂市のキャラクター”ぼっくりん”は可愛らしく、素敵なのでぼっくりんグッズやぼっくりんを通してのイベント等を増やして下さい。グッズ販売も気軽に購入できると嬉しいです。
	※封筒の色が悪い。テンションが下がります。昭和30～40年代の古き懐かしい時代を楽しまずに色付きで気分うきうきの封筒を用意してください。
	初めは茶色で地味だったぼっくりん。今はようやくカラフルでウキウキしています。
	法華山谷川をきれいな川にして欲しい。（ゴミが捨てられている。又、染料を川に流してひどい茶色になっていることがある。）
	他の市から転居してきましたが、①子どもの医療費無料②子どもの副食費無料③水道料金が安い④じょうとんバスが便利⑤きれいな公共施設がある（図書館、ユアアイ帆つとセンター）点が有り難く、若い人も住みやすいと思います。

分野	感じていること
	最近は一ツバ高砂からいくつかお店が撤退していてサンモールのようにならないか心配です。アスパは近郊からもアクセスの良い場所ですし、地元の専門家が賑わう場所にもう一度なればなあ…と思います。
	住みやすい町ですが、空き家や空き地の草が生えているのには町を人に招く時に恥ずかしい町だと思います。
	特にないけど みんなが平和に 暮らしていける高砂市であってほしいです。
	障がい者の息子がいますが、障がい者でも安心して過ごせる空間が欲しい。集まってみんなでゲームしたり、運動したり、ご飯食べたり、そこに行けば、1人で行ってもみんなと過ごせる空間が欲しい。
	高砂市、エエトコいっぱいある！もっともっと発信してください！
	高砂市で生まれ育つ事で、人として成長できる町にして欲しい。
	高砂市に住み始めて5年程になりますが、子育てはしやすいと思います。スーパーもいくつか近所にあって、公園もあり、のんびりした雰囲気も気に入っています。ただ病院の数の少なさと質の悪さは少し不満で、どうしても加古川市を利用することになってしまうのが残念です。 あと、観光、グルメなど、アピールポイントが特にないので他県の友人など、そもそも”高砂市”の存在を知らない事もあります。せっかく”石の宝殿”という素晴らしいスポットがあるのに、なぜもっとアピールしないのかが疑問です。他県の人は存在を知りません。 ぜひもっとPRして下さい。そして堂々と「住まいは高砂です」と言えるようになりたいです。(それどこ？って聞かれちゃうので…)
	このようなアンケートで答えてみると、特徴のない事を思い知らされます。しかし、特徴のない事は、平穏な都市である証拠でしょう。この状態をわざわざ壊して、何か特徴のある市にしようとするとうるさくで無理が生じると思います。この穏やかさを壊す事なく、より一層の穏やかな暮らし易い都市を計画すべきではないでしょうか？無理矢理の開発計画や不確かな経済発展を目論む事には絶対反対です。
	何もないのが高砂市の魅力だと思う。
	市内の県立高校のレベルを上げて欲しい。
	加古川に負けています。
	公民館レベルのイベントが少ない。 転勤族で他県と比べてレベルが低い。 全国で知名度が高い「節約家ママ」や特殊加工武器を造る業者、「相撲」「高砂高校のジャズ」「アメリカで活躍したチアの女性」「尾上の松と高砂神社」は尺八お琴の有名人が遠方から訪れている。このようなマンパワーを活用して欲しい。
	高砂を知ってもらうことに力を入れて欲しい。大きなイベントをとりあえず、一つ、企画して欲しい。加古川は、将棋。姫路はお城やバレーボール。 高砂は？

分野	感じていること
	考えれば何かあるはず。
	知ってもらって、来てもらって、住んでもらう。
	高砂は優れた歴史・文化のあるまちであることを皆が認識持てれば誇りに思うのでは。
	明石市に刺激を受けて、実感出来る実行力をつけて欲しい。もう汚職はいらない
	人口増加対策が少ない。予算がないが、理由なら、それまでの市。いずれ、転出します。自分の子ども達には、明石市にしろさいと言う。
	人口減少が更に進むと思う。大型スーパー撤退。高砂市民病院の赤字。市民税を使って、空車のバスの油の垂れ流し。高齢者が増え免許証返納したいが、移動手段が無くなる。
	老後、都会で生活したいが、金がない。
	海側に大企業が集中しているわりには、人口が少ない。
	高砂のどこが中心地なのか分りにくい。
	観光地としてなのか、企業誘致をすすめるのか、ベッドタウンとしてなのか、どこに力を入れていこうとしているのかわからない。
	企業誘致を積極的にすれば人口が増えるのでは。
	高砂市は大きな企業がたくさんあるのに財政が圧迫しているという話を耳にします。お金の使い方や使う場所等を工夫すればだんだんと改善できるのではないかと考えています。
	たくさんの税金を支払っているのに、高砂市にずっと住んでいたいと思うような高砂市になってほしいと思います。
	高砂駅近くになったサンモールの跡地を有効活用していただきたいと思います。
	耐震問題等あると聞きましたが、市が負担して大きな商業施設ができれば加古川市や姫路市に人が流れてしまう事がなくなり、高砂市も発展していくのではないかと考えます。
	他市と比較し、市域がコンパクトであり、又、JR 2 駅私鉄 4 駅バイパスの IC もあり恵まれた環境にあります。故にもっと利便性や施設等を求め過ぎになっている結果、それぞれの利点が活かしきれていないように感じます。特に姫路市、加古川市と高砂市より規模の大きな市に挟まれているため、同じようなことを行おうとする無理があるのではないかと感じています。近隣市町にない取組を愚直に進めることが必要であると思います。
	活気がない。
	高砂市ににぎわいが薄れている。原因は多くあるが、主に中心街がないことだと思われる。JR 宝殿駅は加古川市との境があるため難しいため、特急が止まる高砂駅が良い。
	車で行きやすい明姫幹線沿いも開発してほしいが、市外の人も来やすい利点からまず高砂駅の開発が必須。西友が閉店した後、何もできない状況は異常であり、市役所も議会も自治会すべて危機感を持つべきである。他市にない大型ショッピングセンター（イケアやコストコなど）の参画や既存商店街のリニューアル、駅前の区画整理も早急にしてほしい。
	高砂町に古民家が多いことから、商業施設とのコラボ（例：古民家を再利用したユニクロなど）も良いと思われる。市民が住みやすく、かつ市外の住民が来やすいよう中心街を 1 つでも設ける方が良

分野	感じていること
	い。 また、阿弥陀・北浜地区の住民は海岸側の整備を進めることに不満があると思われるため、高齢者が使いやすい交通整理が必要。（例：阿弥陀から市役所・山電駅直行のバス便の増加、ミニバスの開設） 観光面では生石神社石の宝殿、日本遺産など資源の再発見ができたものの、知名度はいまいち。市がもっとメディア（地方新聞ではなく、大手に目を向けさせる）に情報提供を行うべき。 にぎわいを昔のように取り戻し、老若男女すべてが活気あふれる新しい高砂市になるよう市役所・市民が一体になって行えるよう期待します。
	だいぶ改善したとはいえ、朝晩の南北の車の交通量は多く渋滞も発生している。最近計画が発表された南部海岸線の高速道路を早期に実現してさらに住みやすい町にしたい。 また、ネットを使った効率化を更に進めて、市役所に行かなくても事が済むと同時に市役所職員の仕事効率化も進めて、より文化的な生活をみんなが送れるようになれば良いと思う。
	第1に、山電高砂駅から荒井駅までの地区の開発 第2に、宝殿駅周辺の開発 第3に、川やドブの設備 第4に、宝殿中学周辺の川をふさいでください。蛇がよく出て危険です。早く川にフタをして欲しいです 第5に、高校まで給食を提供して下さい 第6に、全学校にエアコンを 第7に、全学校（学制）の教育等、医療を無料に 第8に、高砂に大学を作りたい
	私は市役所に向くのが嫌いです。市役所での職員の対応に何度も嫌な思いをしているからです。だから高砂市にもあまり愛着がない。子育てしやすい町なんて謳わないでほしいです。高砂市が子育てしやすいなんて思ったことがありません。不便すぎて困っています。子育てとは健常児を育てることですか？申し訳ないですが、健常児はある程度の環境があれば育ちます。障がい児の支援にこそ、力を入れてほしい。診断、療育、放課後デイなどを他の市に頼ってどうしますか！
	市議会議員の数を減らしてほしい。何もしていない人がいると思う。
	取り敢えずは、古株の市議会議員が引退する事。又、計画されている「播磨臨海道路」の計画に反対することです。
	高砂市連合自治会に関して、自治会加入で人が来られたのですが、秋まつりとゴミに関してお金がいくつとわかれた。秋まつりに関しては、半身マヒになっているので払えませんと断りました。
	高砂の年配の方たちの考え方が保守的すぎる。 あれもこれも刷新しろとは言わないが、もっと子どもや孫たちの暮らしやすい町や村にするような意識を持ってもらいたい。そのためにはまず政治家が年寄りのご意見番になるのではなく、お年寄りにもっと理解をしてもらえる努力をして欲しい。

分野	感じていること
	先人の遺産に胡坐をかいて、努力を怠ってきた挙句が現在の衰退に繋がっている。 自前の能力を過信せず、外部の叡知を有効に活用することで一定の都市基盤を整備してきた。 今後の再整備、再開発でも官民連携、民間活力を有効に活用して、2年後、3年後の近未来モデル都市を目指して計画し、施策展開を図ってほしい。